

平成 20 年度 社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 事業報告

事業報告の概要■

近年の福祉施策は、人としての尊厳の保持と自立支援を念頭に、市町村中心、利用者本位、在宅福祉の充実、サービス供給主体の多様化などに重点がおかれてきました。平成12年度に施行された介護保険法や平成18年度に施行された障害者自立支援法により、市町村を中心に、契約によるサービス提供方式が普遍化し、多様な供給主体による介護サービス量はたいへん増加しました。

一方、地域では、少子高齢化や核家族化による家庭機能の変化、近隣関係の希薄化などが一層進み、住民がお互いに助け合い、支えあう地域社会を築きにくい状況が生まれています。また、平成20年は「100年に一度」といわれる経済不況の影響を受け、企業収益の悪化、消費の冷え込み、雇用の不安定化などが日本社会を覆い、社会問題になった年でもありました。

このような時代背景の中、本会は、『誰もが安心して楽しく幸せに暮らせるまち「立川」』を目指した、地域福祉市民活動計画「第2次立川あいあいプラン21」(以下「あいあいプラン」)に基づき、地域福祉コーディネーターの活動を中心に、支えあいのまちづくりを進めるとともに、4年目を迎えた「あいあいプラン」の見直しと第3次「あいあいプラン」の策定に着手しました。さらに、前述した経済不況への対策として、立川市より生活安定応援事業を受託し、そのような中で正規雇用を目指すために職業訓練、技能習得にチャレンジする市民の支援や高校、大学受験のための塾代や受験料を貸し付ける等、新たな事業に取り組んだ年でもあります。

以下、平成20年度の事業計画に掲げた重点推進事項の推進概要について報告します。

重点推進事項の推進について■

1 第2次「立川あいあいプラン21」の見直しと社協発展・強化計画の策定

市民参画による第3次「立川あいあいプラン21」策定委員会を設置し、第3次プランの策定に着手しました。また、社協の基盤強化に向けた、組織・財源・事業等の今後の方向性についての計画である発展・強化計画については、策定委員および社協理事による部会を設け、検討を始めました。平成20年度は、関係機関・団体に向けた地域福祉に関するアンケートや地域で懇談会などを行い、地域の課題把握に努めました。

2 地域課題に対応する住民福祉活動の推進

地域住民の生活課題の把握とその解決を住民とともに進めるために、栄町・若葉町エリアに、地域福祉コーディネーターを立川市行政と連携して配置しました。地域福祉コーディネーターは、若葉町地区の自治会長へのヒアリング調査による課題の把握を行うとともに、栄町グッドネイバーの方々やわかば地域包括支援センターと連携して、老人クラブの会員などを対象に認知症予防教室やいきいき健康づくり体操などを実施して、介護予防・認知症予防の促進、住民の交流の場づくりなどに努めました。

3 市民の権利を擁護するしくみづくり

判断能力が低下して、自己選択、自己決定が難しくなっても、安心して福祉サービスを利用でき、その人らしい生活を送れるよう、地域あんしんセンターたちかわを運営し、個人の尊厳、財産、権利を包括的に擁護するまちづくりの推進に努めました。平成20年度は、成年後見制度の推進機関として、「後見人連絡会」を開催したり、他に適切な後見人のいない市民を対象に法人後見の受任を積極的に行いました。その他、立川市行政、地域包括支援センター、民生委員協議会などと連携し、虐待対応、

援助困難ケースの支援などを行い市民の権利を擁護しました。

4 地域ケアの基盤構築と総合的な推進

介護保険制度の見直しにより、平成 18 年度から創設された地域包括支援センターを継続して運営しました。地域包括支援センターは、総合的な地域ケアのマネジメントを担う中核機関として、地域ケア会議の開催をはじめ、高齢者の総合相談受付、特定高齢者の介護予防マネジメントや地域の老人クラブなどと連携した介護予防教室の開催、介護保険外のサービスなども調整した包括的・継続的マネジメント、介護支援専門員、訪問介護事業所等への研修、虐待防止を含む高齢者の権利擁護などに、立川市行政、地域の福祉、保健、医療機関などと連携を図りながら取り組みました。

5 事業の健全経営と組織の基盤整備

「住民主体による福祉コミュニティづくり」という使命のもと、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所(ホームヘルプサービス)、通所介護事業所(デイサービスセンター)、障害者自立支援法に基づく居宅介護事業や生活介護の経営、また福祉作業所の経営や収益事業を実施しました。各事業については、その目的に沿って、利用者本位の事業を展開し、かつ地域福祉の推進に向けた法人の経営基盤の強化を図りました。

■一般会計事業

I 法人運営事業

法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実、かつ効果的に行うために、組織運営事業ほか、以下の事業を実施しました。

1. 組織運営事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)理事会の開催	<p>■第1回理事会／平成20年5月23日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度事業報告および決算報告 ・平成19年度監査報告 ・規程の制定および一部改正 <p>-----</p> <p>■第2回理事会／7月22日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度一般会計補正予算 ・規程の一部改正 ・評議員の選任 <p>-----</p> <p>■第3回理事会／11月25日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度上半期事業報告 ・平成20年度上半期監査報告 <p>-----</p> <p>■第4回理事会／12月22日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規程の制定 ・規程、規則の一部改正 <p>-----</p> <p>■第5回理事会／平成21年3月18日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度事業計画および予算 ・規程の一部改正 ・感謝のつどいにおける感謝状受賞者の選定 	<p>◆役員17名(理事15名、監事2名)、評議員31名という体制で、組織の運営に関する審議等を行っています。平成20年度は理事会を5回、評議員会を4回開催しました。</p>
(2)評議員会の開催	<p>■第1回評議員会／平成20年5月23日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度事業報告および決算報告 ・平成19年度監査報告 <p>-----</p> <p>■第2回評議員会／7月28日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度一般会計収入支出補正予算 <p>-----</p> <p>■第3回評議員会／12月3日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事の選任 ・平成20年度上半期事業報告 ・平成20年度上半期監査報告 <p>-----</p> <p>■第4回評議員会／平成21年3月26日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度事業計画および予算 	
(3)調整会議の開催	<p>理事会に向けての調整や重要な案件について検討するため、正副会長および常務理事による調整会議を開催しました</p> <p>○5回開催</p>	

<p>(4)監査の実施</p>	<p>事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を実施しました</p> <p>■平成 19 年度監査／平成 20 年 5 月 19 日(月)</p> <p>■平成 20 年度上半期監査／11 月 11 日(火)</p> <p>とくに指摘事項はありませんでしたが、平成 19 年度監査の際、監事より、以下のような要望事項が挙がりました</p> <p>【事業執行について】</p> <p>①福祉のまちづくりの場・協議会の増設とコーディネーターの醸成</p> <p>②ボランティア活動への啓発支援における視点の転換</p> <p>③会員募集キャンペーンの考え方の再考</p> <p>【会計・経理について】</p> <p>①未払金で、長期間放置されている債務の処理について</p> <p>②立替金・預り金の科目更正が妥当と思われる会計経理の箇所について</p>	<p>◆事業については要望事項を念頭に置き、執行してまいりました。会計・経理については、①②とも指示のあったとおりには是正しました。</p>																																
<p>(5)東京都指導検査</p>	<p>社会福祉法第 56 条に基づき、組織の運営・事業および会計について、東京都による指導検査を受けました</p> <p>■平成 20 年 7 月 3 日(木)</p>	<p>◆文書による指摘事項は、とくにありませんでした。</p>																																
<p>(6)苦情解決制度</p>	<p>社会福祉法第 82 条に基づき、事業所としての苦情解決委員会を開催しました</p> <p>■委員会の開催／平成 21 年 3 月 25 日(水)</p> <p>■平成 20 年度の苦情について</p> <p>苦情解決第三者委員が介入した苦情はありませんでしたが、平成 20 年度の苦情と対応については以下のとおりです</p> <p>【地域活動推進課／市民活動センター係】</p> <p>◆社協職員の態度に対する苦情 1 件</p> <p>⇒本人に謝罪したうえ、その後も本人に失礼のないように、対応している</p> <p>【地域生活支援課／在宅サービス係】</p> <p>○デイサービスセンター</p> <p>◆利用料の誤徴収に対する苦情 1 件</p> <p>⇒本人に謝罪のうえ、翌月の利用料で精算。再発防止策についても提示し、本人に納得していただいた</p>	<p>◆苦情解決の際に第三者委員が関わるまでに至らず、事務局段階でほぼ解決しています。</p>																																
<p>(7)会員募集キャンペーン</p>	<p>7 月を中心に市内自治会等にご協力をいただきながら会員募集を実施しました</p> <p>○会員募集についての説明を、自治会連合会の支部会議の場を借りて行わせていただいた</p> <p>○団体会員には「団体会員ニュース」を発行</p> <p>○実績</p> <table border="1" data-bbox="411 1711 975 1935"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H19</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員</td> <td>10,066</td> <td>9,994</td> <td>100.7%</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>482</td> <td>498</td> <td>96.8%</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>60</td> <td>48</td> <td>125.0%</td> </tr> <tr> <td>団体会員</td> <td>106</td> <td>100</td> <td>106.0%</td> </tr> <tr> <td>準会員</td> <td>382</td> <td>593</td> <td>64.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,096</td> <td>11,233</td> <td>98.8%</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>6,560,833</td> <td>6,873,142</td> <td>95.5%</td> </tr> </tbody> </table>		H20	H19	比較	正会員	10,066	9,994	100.7%	賛助会員	482	498	96.8%	特別会員	60	48	125.0%	団体会員	106	100	106.0%	準会員	382	593	64.4%	合計	11,096	11,233	98.8%	金額	6,560,833	6,873,142	95.5%	<p>◆特別会員、団体会員がわずかながらであるが増え、準会員が減っているということは、本会の活動を理解して「会員」になってくださる方が増えているのだと事務局では分析しています。</p>
	H20	H19	比較																															
正会員	10,066	9,994	100.7%																															
賛助会員	482	498	96.8%																															
特別会員	60	48	125.0%																															
団体会員	106	100	106.0%																															
準会員	382	593	64.4%																															
合計	11,096	11,233	98.8%																															
金額	6,560,833	6,873,142	95.5%																															

(8)第3次「立川あいあいプラン 21」策定委員会	第3次「立川あいあいプラン21」《地域福祉市民活動計画》策定のため、市民参画の策定委員会を開催しました	◆委員会は、学識経験者、自治会、民生委員、市民活動センター登録団体、地域包括支援センター、公募市民、行政、社協理事から14名の委員で構成され、別途発展・強化計画の策定についての部会を設けました。 ◆地域福祉の推進に関するアンケートや、市内で開催している地域懇談会などから市民の声を吸い上げるなど、20年度は、地域課題の把握とその整理に努めました。
	■第1回委員会／平成20年9月30日(火) ・委嘱状の伝達 ・委員長・副委員長の指名と部会委員の選任 ・策定委員会について ・「あいあいプラン21」について ・地域福祉に関する学習	
	■第2回委員会／12月18日(木) ・各地の懇談会等で挙げた課題についての報告 ・各地の課題等を受けての意見交換 ・アンケートの実施について	
	■第3回委員会／平成21年3月11日(水) ・発展強化部会および懇談会の報告 ・地域の課題分析について～アンケート結果から	◆委員は策定委員会と理事会から3名ずつ、6名でスタートしました。社協の財源、組織、職員のことなどを中心に協議を行っています。
■第1回発展・強化部会／平成21年2月9日(月) ・部会の位置づけについて ・社協発展・強化計画について ・計画に盛り込む内容について		

2. 研修事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)役員等研修会の実施	おもに評議員を対象に今後の社協のあり方等に関する研修会を実施しました ■テーマ「これからの地域福祉のあり方と社会福祉協議会」 平成20年12月3日(水) ・講師／川井誉久さん(東京都社会福祉協議会地域福祉部長) ・参加者／20名(事務局職員含む)	
(2)外部の研修への参加	役職員が専門的な知識や技術を身につけるため東京都社会福祉協議会など、外部の研修に参加しました	

3. 連絡調整事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)後援名義の使用許可	福祉関係団体や市民活動団体等が実施する事業に後援名義の使用を許可しました。27件	
(2)他団体との共催による事業	関係機関・団体と共催により、事業を行い、ネットワークの推進に努めました。 ○立川市心身障害者スポーツ大会(心身障害者スポーツ大会実行委員会／立川市) ○ふくしの仕事 相談・面接会(東社協／国分寺市、東京都しごと財団、国分寺市社協、国立市社協)	
(3)他団体が主催する会議等への職員派遣	関係機関・団体が主催する各種委員会・研究会等に役職員を派遣し、連絡調整に努めました。 ■全体／総務 ○区市町村社協部会(東社協) ○区市町村社協事務局長会(東社協)	

- 東京都共同募金会評議員会
- 立川市生活環境安全確保会議
- 立川市生涯学習推進審議会
- 立川商工会議所・東京都地域ジョブ・カードサポートセンター推進協議会
- 立川市民生委員・児童委員協議会会長協議会
- 立川市民生・児童委員協議会定例地区民生委員協議会
- 都内区市町村社協職員連絡会
- 立川市勤労者福祉サービスセンター創立 30 周年記念事業実行委員会
- 市民活動センターたちかわ
- 立川市地域福祉計画策定委員会
- 立川市地域ケア会議
- 立川市地域包括支援センター介護予防業務連絡会
- 立川市防災モデル地区推進事業
- 柴崎町防災合同訓練実施委員会
- 災害ボランティア担当者連絡会議
- 立川市地域学習館運営協議会準備会
- 西武立川駅周辺ユニまちソフト事業連絡調整会議
- 「楽市」企画運営委員会
- 世界ふれあい祭実行委員会
- 共同作業所マーキー運営委員会
- 福祉ホットライン検討委員会
- 認知症支援拠点モデル事業推進委員会
- 立川高校定時制課程学校運営連絡評議会
- 砂川高校定時制課程学校運営連絡協議会
- 砂川高校通信制課程学校運営連絡協議会
- 東京都教育委員会 地域ボランティアセンターの在り方に関する調査研究委員会
- 東京ボランティア・市民活動センター センター長会議
- 東京ボランティア・市民活動センター 事務局連絡会議
- 東京ボランティア・市民活動センター運営委員会
- 北多摩西部ブロックボランティア担当者会議
- NPO 担当者連絡会議
- ボランタリーフォーラム 2009 実行委員会
- 地域あんしんセンターたちかわ
- 立川市地域ケア会議(立川市／地域包括支援センター)
- 立川市小地域ケア会議(各地域包括支援センター)
- 立川市介護支援専門員連絡会(立川市／地域包括支援センター／介護支援専門員連絡会幹事会)
- 権利擁護業務連絡会(立川市／地域包括支援センター)
- ケアマネジメント支援業務連絡会(立川市／地域包括支援センター)
- 福祉相談センター連絡会(立川市／地域包括支援センター・福祉相談センター)
- 精神障害者生活支援基盤整備事業(立川市／精神障害者関連団体)
- 高齢者ケア研究会(立川市高齢者福祉関連)
- 公的住宅保証人制度<たちかわ入居支援福祉制度>検討会(立川市)
- 立川市子ども支援ネットワーク会議(全体会・地区)
- 成年後見制度関係機関・推進機関合同会議(東京都福祉保健局)
- 利用者支援区市町村連絡会(東京都福祉保健局)
- 成年後見制度推進機関連絡会(東京都福祉保健局)
- 成年後見監督業務連絡会(東京都福祉保健局)

	<ul style="list-style-type: none"> ○地権事業業務連絡会(東社協) ○北多摩西部ブロック社協担当者会議(東社協) ○区市町村苦情対応機関情報交換会(東社協) ■地域包括支援センター ○立川市介護保険運営協議会 ○立川市介護保険運営協議会計画策定調査検討委員会 ○立川市地域福祉計画策定検討委員会 ○立川市認知症対応型共同生活介護事業者連絡会 ○東京都社会福祉協議会センター部会 ○東京都社会福祉協議会地域包括ケア促進モデル事業検討委員会 ○北多摩西部保健医療圏看護管理者連絡会 ○地域あんしんセンターたちかわ運営委員会 ○立川市第三者後見人連絡会 ○やわらぎホーム西立川運営推進会議 ○東京都基幹型地域包括支援センターモデル検討会 ○東京の地域ケアを推進する会議専門部会B ○全国社会福祉協議会 生活支援サービスの充実・発展に関する検討会 ■通所福祉 ○東京都市立心身障害児・者施設協議会職員研修会運営委員会 ○立川市自立支援協議会 ○立川市障害者施策推進委員会 ○立川市障害者スポーツ大会実行委員会 ○障害者施設支援連絡会(多摩立川保健所) ○天王橋会館管理運営委員会
(4)研修会・講座等への講師等の派遣	<p>関係機関・団体が主催する研修会や講座等へ、講師として職員を派遣しました。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ■全体 ○立川市シルバー大学福祉講座(5回=社協の役割/介護サービスの賢い利用法/ボランティア活動/高齢者の権利擁護/介護の基本) ■総務 ○東京都社会福祉協議会・要保護世帯向け長期生活支援資金研修 ○星礎学園高校教員研修「貸付制度について」 ■市民活動センターたちかわ ○明星大学ボランティアセンターボランティア活動報告会「学生ボランティアの意義について」 ○立川市シルバー大学福祉講座「ボランティア活動について」 ○全国社会福祉協議会「社会福祉協議会活動全国会議」 ○市民交流大学開講 1周年記念の集い ○ユニバールボランティア東京学習会「高齢者にかかわるボランティア活動」 ○立川市南部西エリア小地域ケア会議「地域力を高める『災害とケアマネージャー』」 ■地域あんしんセンターたちかわ ○立川市介護支援専門員新任基礎研修「地域あんしんセンターたちかわについて」 ○国立市社会福祉協議会「成年後見制度推進機関の取組み」 ○全国社会福祉協議会「虐待防止権利擁護セミナー」 ○麦の会「地域あんしんセンターたちかわについて」 ○わかば包括小地域ケア会議「地域あんしんセンターたちかわについて」 ○柴崎町GNシンポジウム「地域あんしんセンターたちかわの権利擁護について」 ○若葉町家族会「地域あんしんセンターたちかわについて」 ○ニチイ「地域あんしんセンターたちかわについて」「地域あんしんセンターたちかわの利用方法(介

	<p>護保険と自立支援法(精神)の違い」</p> <p>○グッドネイバー若葉 学習会「自分らしい老い支度(遺言・葬儀)」</p> <p>○ケアユニオン研修会「成年後見制度の概要」</p> <p>■地域包括支援センター</p> <p>○東京都地域ケアシンポジウム「いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために」</p> <p>○埼玉県社会福祉協議会・市町村社協地域包括支援センター連絡会議「まちづくりを視野に入れた地域包括支援センターのあり方」</p> <p>○地域包括支援センター社会福祉士全国研究集会「地域包括支援センターのソーシャルワーク実践」</p> <p>■通所福祉</p> <p>○多摩立川保健所「私の施設の歯と口の健康づくり」</p>
(5)視察研修の受け入れ	<p>他地区の社会福祉協議会、関係機関・団体等の視察を受け入れました。</p> <hr/> <p>■市民活動センターたちかわ</p> <p>○ユニバーサル財団ハウスタッフ視察</p> <p>○法政大学学生ヒアリング</p> <p>○立教大学院生ヒアリング</p> <p>○立川市学習館市民嘱託研修</p> <p>○東京ボランティア・市民活動センター新任研修</p> <p>○星槎国際高等学校生徒会</p> <p>○こくぶんじ市民活動センター</p> <p>○たまら〜ん</p> <p>○新潟市社会福祉協議会</p> <p>■地域あんしんセンターたちかわ</p> <p>○上越市社会福祉協議会</p> <p>○国分寺市社会福祉協議会</p> <p>○埼玉県社会福祉協議会</p> <p>○東海村社会福祉協議会</p> <p>○厚生労働省ヒアリング</p> <p>■地域包括支援センター</p> <p>○(福)秋田けやき会 やすらぎホームけやき</p>

4. 普及・宣伝事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)機関紙「あいあい通信」の発行	<p>立川における地域福祉の普及を主な目的に発行。市民参画の広報部会により、企画編集を行いました。なお、配布については立川市シルバー人材センターに各戸配布を依頼しています(発行部数 73,000 部)</p> <p>○08 初夏(5/1)号 平成 20 年度事業計画ほか</p> <p>○08 夏(7/1)号 平成 19 年度事業報告・決算報告ほか</p> <p>○08 秋(10/1)号 赤い羽根共同募金、生活安定化総合対策事業ほか</p> <p>○08 冬(12/1)号 歳末たすけあい運動、地域福祉市民フォーラム 2008 ほか</p> <p>○09 春(2/1)号 第 3 次「立川あいあいプラン 21」策定状況ほか</p>	<p>◆社協をいかに知ってもらうかが、例年の大きな課題となっており、さらなる工夫が必要だと感じています。</p> <p>◆社協事業のPRと、地域活動のPRがバランスよくできるよう紙面づくりを今後とも検討していきます。</p>

(2)ホームページ	○アクセス件数 年間 11,053 件(1日あたり30.2件) 累計 72,973 件(H12.10.25～)	
-----------	--	--

5. 人材育成

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)実習生等の受け入れ	<p>社会福祉系大学および専門学校等から、社会福祉援助技術実習生等の受け入れを行いました。</p> <p>■社会福祉援助技術実習【全体／デイサービスセンター／生活介護支援事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本社会事業大学(1名) ○武蔵野大学(1名) ○立教大学(1名) ○東洋大学(1名) ○明星大学(1名) ○法政大学(1名) ○東京学芸大学(1名) ○白梅学園大学(1名) ○田園調布大学(1名) ○早稲田大学(1名) ○日本社会事業大学通信教育科(1名) ○日本福祉大学通信教育科(1名) ○佛教大学通信教育科(1名) <p>■在宅看護実習【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立川市立看護専門学校 <p>■教員免許法の特例による介護体験実習【生活介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国立音楽大学(21名) ○首都大学(2名) <p>■臨床研修【生活介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西東京歯科衛生士専門学校(8名) <p>■居宅介護実習【ホームヘルプサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京YMCA医療福祉専門学校(8名) <p>■中学生職場体験【生活介護／デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立川市立立川第一中学校(3名) ○立川市立立川第二中学校(2名) ○立川市立立川第八中学校(3名) <p>■介護体験【デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○星槎学園国際高等学校(6名) <p>■特別支援学校生徒現場実習【福祉作業所／生活介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都立武蔵台特別支援学校(5名) ○東京都立村山特別支援学校(2名) ○東京都立立川ろう学校(1名) ○滝乃川学園(1名) 	<p>◆人材育成については、社協の社会的な役割と考えるので、より有効な実習が行えるよう受け入れ方法についての検討を行っています。</p>

II 地域福祉事業

誰もが身近なところで気軽に相談できる窓口としての「社協あいあいステーション」や専門相談事業の充実を図り、誰もが安心して暮らせるまちづくりに寄与しました。

1. 相談事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)専門相談事業	総合福祉センター(①のみ)と伊勢丹立川店6Fの社協あいあいステーションにて、合計9種類の専門相談を、各専門機関の協力により実施しました。なお、⑦成年後見相談と⑧相続相談については、地域あんしんセンターたちかわの専門相談事業として実施。 ①アルコール相談・毎月第2・4(水) ②心のふれあい相談・毎週(火)(木) ③法律相談・毎月第1・3・4・5(土)、第3(火) ④税金相談・偶数月第2(日) ⑤年金相談・偶数月第4(日) ⑥高齢者在宅介護相談・偶数月第1(水) ⑦成年後見相談・毎月第2(土) ⑧相続相談・毎月第2・4(火) ⑨外国人相談・毎月第3(金)	◆あいあいステーションの場合、他の専門機関とは異なり、(土)(日)および祝日に相談事業を行っているところを特色としており、これについては、相談者はもとより、市役所の市民相談室をはじめとする市内の相談機関より評価されているところです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
アルコール相談	0	1	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	7	77.8%
心のふれあい相談	2	1	3	1	1	3	3	1	1	4	3	2	25	58.1%
法律相談(司法書士)	4	5	8	8	11	9	11	6	10	9	8	5	94	90.4%
法律相談(弁護士)	4	2	0	2	2	5	4	2	3	0	3	1	28	82.4%
税金・税務相談	2	-	2	-	2	-	4	-	3	-	3	-	16	160.0%
年金・労務相談	1	-	2	-	1	-	3	-	4	-	4	-	15	125.0%
高齢者在宅介護相談	2	-	2	-	0	-	0	-	0	-	0	-	4	400.0%
外国人相談(行政書士)	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	-
成年後見相談	1	0	2	1	0	2	0	2	0	0	3	2	13	118.2%
相続相談	2	4	5	3	5	3	6	4	5	6	4	5	52	92.9%
	18	13	25	15	25	25	31	16	26	19	28	16	257	87.4%

2. 「社協あいあいステーション」運営事業

事業名等	実績(実施日など)													評価等	
(1)相談事業	総合相談窓口として、福祉や介護、市民活動等についての相談を実施しました(相談件数:694件) ※専門相談については前掲														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比	
相談件数	55	97	79	63	59	64	65	39	46	34	51	42	694	102.7%	

(2)ミニ手づくり教室 「あいのて」	毎月第1(金)、第3(水)、第4(月)に高齢者の生きがいづくりの場として実施しています	◆講師は、あいあいステーションスタッフですが、ほとんどの参加者がリピーターになるほど人気が高く、高齢者等の生きがいづくりの場として一役買っています。今年度から毎月3回の実施となったため、参加者数が大幅に増えています。
-----------------------	---	--

あいのて	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
参加者数	15	10	21	14	13	17	15	16	17	16	18	17	189	170.3%

(3)手づくりショップの運営	市内外の小規模作業所の利用者やシルバー人材センターの会員が作成した手づくり品の販売を実施しています	◆今年度も障害者自立支援法の施行に伴い、手づくり作品の製作に重点を置けなくなる施設などの撤退や規模縮小がみられました。今後も近隣地域の団体などにも呼びかけながら、新団体の発掘を行う予定です。 ◆障害のある当事者が気軽に立ち寄れる場として定着してきました。
----------------	---	--

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上額	¥121,462	¥213,300	¥142,962	¥126,450	¥108,562	¥152,888	
前年比(%)	120.7%	157.7%	186.8%	153.6%	107.1%	111.6%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
売上額	¥87,181	¥106,048	¥879,554	¥127,750	¥129,000	¥125,650	¥2,320,807
前年比(%)	64.7%	91.6%	112.1%	92.3%	79.9%	73.0%	108.4%

※イベントおよび「あいのて」参加費を含む

(4)イベントの実施	<p>福祉に関する普及や相談事業およびショップのPRを兼ねて、イベントを実施しました</p> <p>■『クレープ紙で作る フラワーバスケット作り教室』 (母の日に向けた企画) 日時:4月29日(火・祝)11:00-12:30、14:00-15:30 協力:福祉作業所ポピーの家(調布市) 参加者:24名(定員24名)</p> <p>■『ぱんぷきん展 お父さんありがとう』(書道展) (父の日に向けた企画) 期間:6月11日(水)~17日(火) 協力:NPO ぱんぷきん(武蔵村山市) 来場者数:約50名</p> <p>■『健康生きがい講座~高齢者のうつ 家族がうつに悩んだ時~』 ①7月25日(金)14:00-16:00 講師:向山晴子さん(多摩総合精神保健福祉センター 医師) 参加者:16名(定員20名)</p> <p>■『敬老の日に手づくりの品を贈ろう~せっけんデコパージュ教室~』(敬老の日に向けた企画) 日時:9月9日(火)11:00-12:30、14:00-15:30 講師:舟木いきさん(NPO高齢社会の食と職を考えるチ</p>	<p>◆立地条件の良い伊勢丹にて開かれるということもあり、各種イベントは例年通りたくさんのお客様で賑わいました。中でも手づくり教室は人気が高く、高齢者を中心とするリピーターが多いのが特徴です。「あいのて」同様に高齢者の生きがい作りの場として一役買っています。また今回は、福祉作業所だけではなく、高齢者を支援している団体を講師に招き、教室を行いました。また、こうした活動の紹介の場を求めている団体は多いと考えています。</p> <p>◆イベントは、お客様に地域の団体を伝えることだけでなく、あいあいステーションのネットワークを広げるきっかけづくりにも有効と思われるので、今後は、福祉作業所以外の地域の様々な団体も紹介していきたいと思っています。</p> <p>◆ちくちく展は例年通りたくさんの方にご参加・ご来場いただきました。来場者数・売上とも伸びてはおりますが、新しい運営方法についても少しずつ検討していく余地があると思います。</p>
------------	---	--

	<p>ヤンプルーの会)</p> <p>参加者:17名(定員24名)</p> <p>■『はじめての絵手紙教室』</p> <p>日時:10月29日①10:30~12:30 ②14:00~16:00</p> <p>講師:大谷春枝さん</p> <p>参加者:①8名 ②8名(定員各8名)</p> <p>■『第6回ちくちく展』</p> <p>日時:11月26日~12月2日</p> <p>協力:あいあいステーション販売登録団体、他市福祉施設・団体等</p> <p>売上:約714,000円(目標額:650,000円)</p> <p>来場者数:約435名</p> <p>■『さげもん つるし雛の展示』</p> <p>日時:2月11日~3月3日</p> <p>協力:ミニ手作り教室あいのて</p>	
--	---	--

3. 災害等援護事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)緊急援護	一時的に生活が困難になった方への援護事業 ○42件 89,480円	◆19年度の8件から、件数は5倍以上に増えました。経済不況の影響がそのまま数字に現れています。

4. 団体助成事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)地域福祉活動費助成	<p>■団体助成</p> <p>○3団体(立川市老人クラブ連合会、立川市子ども会連合会、立川市スカウト育成会) 989,000円</p> <p>■自治会助成</p> <p>※会費収納分の18%に相当する額(一団体500円以上)</p> <p>○93自治会 994,320円</p>	

Ⅲ 市民活動センター事業

市民活動を価値観・分野・形態で分断せず、包括的に支援していく中間支援組織として、市民参画による運営委員会を組織して「市民活動センターたちかわ」を運営し、「協働」、「地域づくり」、「活動支援」の3つのキーワードに基づき、以下の事務事業を行ってきました。

1. 運営委員会によるセンター運営

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)運営委員会・専門委員会の開催	<p>市民参画による運営委員会を組織して、市民活動センター事業の企画、推進、評価を行いました</p> <p>■運営委員会/4回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度事業報告 ・各専門委員会活動報告 ・「早春!!市民活動体験月間」について ・平成21年度事業案内について 	◆市民参画の運営委員(20名)により、市民活動センター事業の企画、運営を行いました。

	<p>■課題解決実行委員会／12回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度事業報告構成について ・センターの現状・課題抽出 ・団体が使いやすい助成金制度について ・センター登録団体のつながりづくりについて ・助成事業アンケートについて ・企業が地域に根ざす努力への支援をするには <p>■団体支援委員会／11回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度前・後期期助成金審査会 ・平成19年度・20年度報告書審査会 ・団体連絡会について ・市民活動団体マネジメント講座について ・助成事業の見直しについて ・登録団体紹介BOOK及びボラえもんについて <p>■事業推進委員会／12回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみようか!市民活動2009」について ・第16～19回市民おもしろ大学の企画、運営 ・そば打ちボランティア養成講座について ・「早春!!市民活動体験月間」について 	
--	---	--

2. キーワード1:「協働」

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)立川市第3次基本計画策定市民会議の運営	<p>立川市第3次基本計画の策定にあたり、市民参加による市民会議の運営を行い、市民と行政の協働による計画策定の支援を行いました</p> <p>■市民会議の準備、打合せ等</p> <p>■計画策定のための市民交流大学への協力 全4回</p> <p>■市民会議全体会議／4回</p> <p>■市民会議幹事会／4回</p> <p>■市民会議分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画推進分科会6回 ・福祉保健分科会5回 ・生活環境分科会6回 ・教育文化分科会5回 ・都市づくり分科会4回 ・産業分科会5回 <p>■調整委員打合せ3回</p> <p>■「会議力」アップ学習会1回</p>	<p>◆平成22年度からの立川市第3次基本計画策定の市民参加支援を行いました。6分科会に分かれて、第2次基本計画の進捗状況の確認、現状・課題の抽出、中間発表までを行いました。平成21年7月までに最終提言書をまとめる予定です。</p>
(2)協働の仕組みづくりと市民自治推進活動の支援	<p>■市民と行政の協働によるまちづくりを進めるために、立川市第2次基本計画策定市民会議のOBを中心とする団体と連携して協働の仕組みづくりや市民自治の推進について研究しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たちかわ協働みらい会議の支援／1回 ・第2次基本計画の進捗状況について ○自治基本条例市民研究会との連携／3回 ・自治基本条例についての学習と情報交換 <p>■市民と行政の協働で運営されている、たまがわ・みらい</p>	<p>◆自治基本条例市民研究会やたちかわ協働みらい会議の定例会などに参加して、協働の仕組みづくりなどについて研究しました。</p> <p>◆たまがわ・みらいパークの運営について側面的な支援を行いました。</p>

	<p>パーク(旧多摩川小学校)の活動に協力し、協働の推進に寄与しました</p> <p>○たまがわ・みらいパーク企画運営委員会等への支援 /9回</p>	
(3) 市民と行政の協働事業や地域イベントへの参画	<p>市民と行政の「協働」事業や地域イベントなどに積極的に参画しました</p> <p>■駅前放置自転車クリーンキャンペーンへの参画</p> <p>・誰もが社会に貢献できる活動として、小学生や障害者の参加のコーディネートを行ないました。</p> <p>平成20年10月22日 参加者15名</p> <p>■春・秋の「楽市」実行委員会への参画</p> <p>○「春の楽市」平成20年4月27日</p> <p>参加市民活動団体:11団体</p> <p>○「秋の楽市」平成20年11月10日・11日</p> <p>参加市民活動団体:20団体</p>	<p>◆市内3校(第三小学校、第五小学校、第七小学校)の生徒が参加しました。参加校は1校増でしたが、参加者数は半減でした。</p> <p>◆「楽市」実行委員会に参画し、「まち」のにぎわい、市民活動団体のPRや財源確保の場の提供に努めました。</p>
(4) 関係団体との協働事業の実施や企業の社会貢献活動の支援	<p>関係団体や企業等と協働事業を実施して、地域福祉の啓発、企業の社会貢献活動、市民のボランティア活動への参加などの推進に寄与しました</p> <p>■ふれあいミュージックフェスティバル 参加者1,110名</p> <p>・東京ガス多摩支店、国立音楽大学と協働して、誰もが良質な音楽にふれる機会を提供しました。</p> <p>■商工会議所との「市民参加のまちづくり」企画</p> <p>○コスモスウォーキング 平成20年10月11日</p> <p>○春うらら桜ウォーキング 平成21年3月29日</p> <p>■立川・昭島マラソン大会 平成21年3月8日</p> <p>■企業の社会貢献活動の支援</p> <p>○CSRの相談と活動コーディネート</p> <p>・株式会社弘久社</p> <p>・ブルデンシャル生命保険株式会社</p> <p>・美容院HAREKE</p> <p>・大和ハウス工業株式会社多摩支店</p> <p>・株式会社アルチザネットワークス</p>	<p>◆当日は雨天にも関わらず、ほぼ満席となり好評を得ました。</p> <p>◆立川商工会議所と連携し、「まち」を案内するボランティアの活動の場を創出しました。</p> <p>◆CSR活動の展開方法に関する相談が寄せられ、NPOとの協働に結びつきました。</p>

3. キーワード2「地域づくり」

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1) 地域福祉コーディネーターの配置による地域づくり	<p>第2次立川あいあいプラン21の目標の1つに掲げた、「地域課題に対応する住民福祉活動の推進」を果すために、「地域福祉コーディネーター」を配置して、地域課題の解決や予防を重視した活動を、地域包括支援センターや自治会、民生委員協議会とともに行いました</p> <p>■各種相談の受付と対応</p> <p>○コーディネーターへの相談件数/202件</p> <p>・見守り、介護:63件 ・生計:13件</p> <p>・住居:3件 ・家事:9件</p> <p>・市民学習:30件 ・子ども:21件</p> <p>・ボランティア:41件 ・虐待:4件</p> <p>・その他:18件</p>	<p>◆まちの課題を把握して、関係団体とその解決を図ってきました。</p> <p>◆市民生活に関するあらゆる相談に対応しました。</p> <p>◆認知症の家族会の立ち上げを行いました。</p> <p>◆相談件数はほぼ横ばい。見守り、介護に関する相談が倍近く増えました。</p>

<p>・平成 21 年 3 月 9 日 参加者 12 名 ○さかえサロン立ち上げ</p> <p>・平成 20 年 8 月 27 日 参加者 3 名 ・平成 20 年 11 月 5 日 参加者 3 名 ・平成 20 年 12 月 3 日 参加者 3 名</p> <p>○ハッピーメイト立ち上げ</p> <p>・平成 20 年 8 月 22 日 参加者 3 名 ・平成 20 年 10 月 3 日 参加者 3 名 ・平成 20 年 11 月 14 日 参加者 4 名 ・平成 20 年 12 月 12 日 参加者 4 名 ・平成 21 年 2 月 13 日 参加者 6 名</p> <p>■栄町地区の自治会役員・民生委員・地域包括支援センター・社会福祉協議会の四者懇談会等の実施／2 回</p> <p>・平成 20 年 6 月 11 日 参加者 12 名 ・平成 20 年 6 月 13 日 参加者 16 名</p> <p>■自治会班単位での防災懇談会／9 回</p> <p>○栄町地区四者懇談会後の取り組みについて</p> <p>・平成 20 年 8 月 8 日 参加者 2 名</p> <p>○市営江ノ島住宅自治会</p> <p>・平成 20 年 9 月 9 日 参加者 5 名 ・平成 20 年 10 月 19 日 参加者 19 名 ・平成 20 年 11 月 11 日 参加者 6 名 ・平成 20 年 11 月 30 日 参加者 15 名 ・平成 21 年 3 月 3 日 参加者 6 名(炊出し訓練打合せ)</p> <p>○南栄会自治会</p> <p>・平成 20 年 9 月 16 日 参加者 2 名 ・平成 20 年 12 月 6 日 参加者 4 名</p> <p>○若葉町団地自治会</p> <p>・平成 21 年 2 月 12 日 参加者 16 名 ・平成 21 年 2 月 14 日 参加者 19 名</p> <p>○けやき会(けやき台団地老人会)</p> <p>・平成 21 年 3 月 19 日 参加者 26 名</p> <p>■公衆衛生・飼い主のいない猫対策／10 回</p> <p>○栄町猫対策委員会</p> <p>・平成 20 年 4 月 24 日 参加者 4 名 ・平成 20 年 5 月 21 日 参加者 4 名 ・平成 20 年 6 月 18 日 参加者 5 名 ・平成 20 年 7 月 29 日 参加者 4 名 ・平成 20 年 8 月 19 日 参加者 7 名 ・平成 20 年 9 月 18 日 参加者 7 名 ・平成 20 年 10 月 21 日 参加者 9 名 ・平成 20 年 11 月 6 日 参加者 10 名(他地区の相談) ・平成 20 年 11 月 17 日 参加者 6 名 ・平成 20 年 12 月 16 日 参加者 16 名</p> <p>○地域猫活動団体交流会</p> <p>・平成 20 年 6 月 18 日 参加者 9 名</p> <p>■交流の場作り</p> <p>○支え合いサロン立ち上げ</p>	<p>◆サロンの立ち上げ支援を行いました。</p> <p>◆四者懇談会で挙げた課題から、自治会班単位での防災懇談会につなげることができ、複数の自治会の協力を得ることができました。</p> <p>◆栄町地区の活動から、全市的な活動へ広がりがつつあります。委員会は独自に活動を展開するようになっている。</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーメイト(高齢者の見守り体制) ・スマイル(子育てサロン) ・さかえサロン ○けやき台団地自治会自主防災組織 ・平成 20 年 4 月 23 日 参加者 5 名 	
	<p>■グッドネイバー運動推進団体の支援と連携／20 回</p> <p>○グッドネイバー若葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年 4 月 11 日 参加者 8 名 ・平成 20 年 5 月 30 日 総会出席 ・平成 20 年 6 月 13 日 参加者 8 名 ・平成 20 年 9 月 12 日 参加者 9 名 ・平成 20 年 10 月 10 日 参加者 10 名 ・平成 20 年 11 月 14 日 参加者 8 名 ・平成 21 年 2 月 13 日 参加者 10 名 <p>○栄町グッドネイバーをすすめる会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年 4 月 5 日 参加者 7 名 ・平成 20 年 5 月 8 日 参加者 8 名 ・平成 20 年 5 月 16 日 参加者 15 名 ・平成 20 年 6 月 5 日 参加者 5 名 ・平成 20 年 7 月 7 日 参加者 6 名 ・平成 20 年 8 月 20 日 参加者 10 名 ・平成 20 年 8 月 25 日 参加者 2 名 ・平成 20 年 9 月 8 日 参加者 9 名 ・平成 20 年 10 月 18 日 参加者 9 名 ・平成 20 年 11 月 10 日 参加者 10 名 ・平成 21 年 1 月 16 日 参加者 7 名 ・平成 21 年 2 月 9 日 参加者 8 名 ・平成 21 年 3 月 11 日 参加者 11 名 	<p>◆グッドネイバーの定例会に参加して連携を深めました。</p>
<p>(2) 地域懇談会の開催</p>	<p>地域課題の把握やその解決策の検討、そして、住民同士の顔の見える関係作りなどのために、グッドネイバー運動推進団体や地域の関係機関と連携して地域懇談会を開催しました</p> <p>■栄町・若葉町地区(前掲)</p> <p>■高松町地区／9 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年 10 月 21 日 参加者 4 名 ・平成 20 年 11 月 21 日 参加者 4 名 ・平成 20 年 11 月 29 日 参加者 35 名 ・平成 20 年 12 月 8 日 参加者 4 名 ・平成 21 年 1 月 16 日 参加者 4 名 ・平成 21 年 1 月 24 日 参加者 23 名 ・平成 21 年 2 月 3 日 参加者 3 名 ・平成 21 年 3 月 17 日 参加者 3 名 ・平成 21 年 3 月 28 日 参加者 19 日 <p>■幸町地区／9 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年 5 月 20 日 参加者 3 名 ・平成 20 年 7 月 16 日 参加者 3 名 ・平成 20 年 8 月 26 日 参加者 3 名 	<p>◆グッドネイバー推進団体や自治会、民生委員協議会、地域包括支援センターなどと連携して実施します。</p> <p>※グッドネイバー推進団体定例会のうち、具体策を講じる「懇談」の要素が強いものを「懇談会」として含む。</p> <p>◆高松町地区は新たに開催しました。</p> <p>◆幸町地区は 10 月の防災講座をきっかけとして、参加者を増加させることができ、自治会や民生委員等も参加して新たな活動を始めています。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年 10 月 16 日 参加者 17 名 ・平成 20 年 10 月 25 日 参加者 18 名 ・平成 20 年 11 月 5 日 参加者 17 名 ・平成 20 年 12 月 10 日 参加者 3 名 ・平成 20 年 12 月 19 日 参加者 25 名 ・平成 21 年 3 月 6 日 参加者 15 名 ■柏町団地／4 回 ・平成 20 年 9 月 13 日 参加者 4 名 ・平成 20 年 10 月 19 日 参加者 8 名 ・平成 21 年 1 月 25 日 参加者 6 名 ・平成 21 年 3 月 22 日 参加者 8 名 ■地域の課題解決のためのネットワークづくり、リーダー組織・人材の育成 ○西砂・一番市民活動ネットワークの活動支援 ・平成 20 年 4 月 23 日 参加者 8 名 ・平成 20 年 5 月 2 日 参加者 5 名 ・平成 20 年 5 月 13 日 参加者 2 名 ・平成 20 年 5 月 20 日 参加者 8 名(設立総会) ・平成 20 年 6 月 19 日 参加者 7 名 ・平成 20 年 6 月 30 日 参加者 8 名 ・平成 20 年 7 月 22 日 参加者 7 名 ・平成 20 年 8 月 11 日 参加者 2 名 ・平成 20 年 8 月 21 日 参加者 6 名 ・平成 20 年 9 月 5 日 参加者 11 名 ・平成 20 年 9 月 16 日 参加者 8 名 ・平成 20 年 9 月 25 日 参加者 11 名 ・平成 20 年 9 月 25 日 参加者 11 名 ・平成 20 年 10 月 1 日 参加者 4 名 ・平成 20 年 10 月 21 日 参加者 6 名 ・平成 20 年 11 月 21 日 参加者 5 名 ・平成 20 年 11 月 26 日 参加者 3 名 ・平成 20 年 12 月 10 日 参加者 12 名 ・平成 21 年 1 月 23 日 参加者 6 名 ・平成 21 年 2 月 5 日 参加者 5 名 ・平成 21 年 2 月 26 日 参加者 6 名 ・平成 21 年 3 月 10 日 参加者 8 名 	
<p>(3)グッドネイバー運動推進団体の支援と連携</p>	<p>小地域での学びあい、助け合い、支えあい活動などを行なうグッドネイバー運動推進団体の支援を行なうとともに、同団体と連携して地域懇談会の実施や地域づくりに根ざした活動を行いました</p> <ul style="list-style-type: none"> ■栄町、若葉町、西砂・一番町のグッドネイバー運動推進団体の支援 ・定例会への職員参加による、情報交換、情報提供 ・地域懇談会の共同開催 ・講演会、講座開催時の講師紹介 ・活動費の助成 ■グッドネイバー推進団体との協働事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆グッドネイバー運動推進団体の活動費の補助や定例会への参加などをおとして、小地域活動を推進しました。 ◆グッドネイバー運動推進団体と地域包括支援センターの連携を働きかけ、介護予防などの推進を図りました。

	<p>○柴崎町・生活支援講座「柴崎町を“向う三軒両隣”の生きる町に」</p> <p>・平成20年9月28日 参加者25名</p>	
(4) 支えあいサロン活動の促進	<p>高齢者や子育て中の親などが、家庭や地域の中で孤立した生活を送ることがないように、住民のたまり場、交流の場としての支えあいサロン活動を促進しています</p> <p>■サロン団体への情報提供</p> <p>■活動費の補助</p> <p>・登録サロン数:32ヶ所 (高齢者14ヶ所、子育て12ヶ所、その他6ヶ所)</p>	<p>◆地域包括支援センターなどと連携し高齢者サロンの増加を図りました。</p>
(5) 学校を核とした市民学習支援、地域づくり	<p>市内の学校を核にして、児童・生徒と地域住民が学び、交流しあう授業づくりなどのコーディネートを行い、児童・生徒の豊かな成長、学校を核とした地域づくりに寄与しました</p> <p>■総合学習の時間や中学生の職業体験、都立高校の「奉仕体験活動」のコーディネートの実施、情報提供</p> <p>○出前講座や総合学習の時間などの支援校/13校</p> <p>・二小、三小、四小、五小、六小、七小、新生小、一中、二中、七中、八中、九中、北多摩高校</p> <p>○都立高校奉仕体験活動の支援/3校5課程</p> <p>・立川高校(全日制・定時制)</p> <p>・北多摩高校</p> <p>・砂川高校(単位制普通科・通信制)</p> <p>■立川市教員研修への協力</p> <p>立川市教育委員会の主催で、立川市および近隣市の教員を対象に、福祉教育をテーマにした参加型・体験型学習の研修を行った。NPO法人自立生活センター立川障害当事者13名の協力を得た。</p> <p>・平成20年8月6日 参加者:11名(教員)</p>	<p>◆総合学習の時間や都立高校の奉仕体験活動をとおして、地域住民、ボランティア、市民活動団体と学校の連携を強化し、誰もが気軽に地域づくりに参加できるようコーディネートしたり、関係づくりのための情報提供や授業への参加を行いました。</p>

4. キーワード3:活動支援

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1) 市民活動に関する相談受付とコーディネート	<p>ボランティア活動、NPO活動などに関する相談を受け、市民のボランティア活動への参加や課題解決などを図るコーディネートを行いました</p> <p>■窓口、電話、訪問、メール等による相談受付件数</p> <p>・1,512件</p>	<p>◆前年より相談件数は増加しています。(昨年は1,268件) 相談内容は「保健・医療・福祉」分野が最も多く、次いで「子ども」分野となりました。</p>
(2) 多様な世代の市民活動参加支援や啓発イベントの開催	<p>多様な世代の方々の地域活動、市民活動への参加のきっかけとなるよう、関係機関と連携したイベントを開催しました</p> <p>■そば打ちボランティア養成講座の開催</p> <p>4回の講座で技術を身に付け、以後はボランティアグループ立上げに向けて活動しました。</p> <p>・平成20年10月28日 参加者16名(講座)</p> <p>・平成20年11月11日 参加者14名(講座)</p> <p>・平成20年11月18日 参加者16名(講座)</p> <p>・平成20年12月2日 参加者15名(講座)</p>	<p>◆団塊世代を含む多様な世代の方々等、市民の誰もが、気軽にボランティア活動、市民活動に関われるよう、きっかけづくりなどにつながる啓発イベントを実施しました。</p> <p>◆そば打ちボランティアは自主グループ化に向けて活動を続けています。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年 1 月 20 日 参加者 9 名 ・平成 21 年 2 月 10 日 参加者 9 名 ・平成 21 年 3 月 10 日 参加者 6 名 ■早春!!市民活動体験月間～この春、何か始めよう～ これからボランティア活動・市民活動を始めようという方が、気軽に参加でき、情報を得られるイベントを市内各所の市民活動団体の協力で開催しました。 ・平成 21 年 2 月 1 日～2 月 28 日 参加者 5 名 ■助成団体活動報告会の実施 ・19 年度後期助成金報告会 平成 20 年 6 月 7 日 参加者 19 名 	
(3)市民おもしろ大学の開催	<p>魅力的で多様な生き様の市民を講師に招き、市民同士の学びあい、交流の促進、市民活動への参加などを目的に市民おもしろ大学を開催しています</p> <p>■多様な市民を講師に招いた「市民おもしろ大学」の開催</p> <p>○第 16 回 「自然！再発見～富士見町の自然と歴史・文化を訪ねる～」 平成 20 年 5 月 22 日 参加者 16 名 場所:富士見町(西立川駅～柴崎学習館) 講師:鈴木 功さん(立川自然観察友の会会長)</p> <p>○第 17 回 「老舗名物旅館が見守った立川の歴史」 平成 20 年 9 月 20 日 参加者 66 名 場所:無門庵 講師:小林日文さん(無門庵会長)</p> <p>○第 18 回「立川発!旬の野菜を食べよう!!～地産地消と食の安心・安全を考える～」 平成 21 年 2 月 21 日 参加者 35 名 場所:こぶし会館 講師:豊泉 裕さん(立川市農研会顧問・スマイル農園園主)</p>	<p>◆魅力ある多様な分野で活躍する市民を講師に招き実施しました。秋にそば打ちボランティア養成講座を開催した関係で、開催数は 3 回となりましたが、来場者数は 117 名で、1 回当たり平均 39 名となり、ほぼ目標数を達成しました。</p>
(4)夏！体験ボランティアの実施	<p>福祉施設や市民活動団体の協力を得て、市民のボランティア活動へのきっかけづくりを目的にした「夏！体験ボランティア」を実施しました</p> <p>■福祉施設、児童館、保育園、環境団体などのプログラムへの体験ボランティアの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者:166 名 ・協力プログラム数:70 団体 107 プログラム 	<p>◆7～8 月に実施しました。参加者の中心は学生でした。社会人や中高年層の参加が少なく、プログラムを検討していきます。参加者数目標 140 名、体験プログラム数目標 90 プログラムは達成しました。</p>
(5)NPO法人設立ガイダンスの実施	<p>NPO 法人格を取得して市民活動を行いたい市民を対象にガイダンスを実施して市民活動の活性化を図りました</p> <p>■NPO 法の解説や NPO 化の意義、申請手続きなどを伝えるガイダンスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年 5 月 28 日 参加者 12 名 ・平成 20 年 7 月 23 日 参加者 8 名 ・平成 20 年 10 月 22 日 参加者 4 名 ・平成 21 年 2 月 3 日 参加者 9 名 	<p>◆年間4回開催しました。参加者数は計 33 名で目標40名を若干下回りました。</p>

<p>(6) 市民活動団体向け実務講座の開催</p>	<p>■NPO法人を目指す団体の定款のつくり方や団体運営に欠かせない会計、税務、労務といった実務に関する講座の開催</p> <p>○NPO 設立ガイダンスとして 平成 21 年 2 月 3 日 参加者 9 名 講師: 市民活動センター職員</p> <p>○「定款のつくり方」 平成 21 年 2 月 12 日 参加者 6 名 講師: 池澤良子さん(東京ボランティア・市民活動センタースタッフ)</p> <p>○「NPO 法人と会計・税務」 平成 21 年 2 月 14 日 参加者 4 名 講師: 内藤 純さん(公認会計士・税理士)</p> <p>○「NPO 法人と労務」 平成 21 年 2 月 24 日 参加者 4 名 講師: 井嶋栄治さん(社会保険労務士)</p>	<p>◆税理士や社会保険労務士といった専門職を招いた連続講座を実施しました。前年度に比べ参加者が減少し、参加者数 23 名と、目標数(80 名)には及びませんでした。</p>
<p>(7) 市民活動団体向けマネジメント講座の開催</p>	<p>■目標管理や会議の運営、広報力アップなど、NPO 団体の課題に応じたマネジメント講座を開催しました。</p> <p>○「共感を生み出す発信力」 ・平成 20 年 7 月 30 日 参加 15 団体 21 名(登録団体連絡会と同時開催) ・講師: 中村泰彦さん((有)ワイ・エー・エス)</p> <p>○「行列のできる!!講座・チラシの作り方」 ・平成 21 年 3 月 6 日 参加者 25 名 ・講師: 牟田静香さん((NPO)男女共同参画おた)</p> <p>○「牟田さんから学んだ効果的な講座・チラシの作り方テクニカル編～Wordで牟田流チラシを作ろう～」 ・平成 21 年 3 月 19 日 参加者 8 名 ・講師: 岩間直人さん(たちかわパソコン倶楽部)</p>	<p>◆市民活動団体の共感者や賛同者が増えないという課題を解決するために、外部への発信力をつける講座を開催しました。</p>
<p>(8) 登録団体連絡会の開催</p>	<p>市民活動センターに登録している団体間の出会いや情報交換、協働、ネットワークの強化による団体の課題解決などを目的に連絡会を開催しました</p> <p>■市民活動センター登録団体連絡会の開催 ・平成 20 年 7 月 30 日 参加 15 団体 21 名(マネジメント講座と同時開催)</p>	<p>◆年 1 回の開催となりました。参加団体は 15 団体と目標数の半数でした。</p>
<p>(9) 事務機器などの貸出機材の整備</p>	<p>市民活動団体の円滑な会議運営、事務の効率化などを図るために、事務機器などを整備し、貸出しを行いました</p> <p>■印刷機、PC、拡大コピー機、紙折り機などの貸出し</p> <p>○印刷機 363 件 ○拡大印刷機 96 件 ○パソコン 50 件 ○図書 35 件/57 冊 ○車椅子 36 件/282 台 ○アイマスク 9 件/135 枚 ○点字板 2 件/20 枚 ○マイクスタンド 3 件 ○音響装置 1 件 ○テント 0 件</p> <p>■ボランティアルームの貸出し</p> <p>○しばざきボランティアルーム 延 76 団体 ○ふじみボランティアルーム 延 105 団体</p>	<p>◆多様な事務機器、車椅子、図書、備品、スペースの貸出しを行ない、延 776 団体に活用されました。</p>

(10)情報コーナーの整備・登録団体紹介冊子の発行	<p>ボランティア・市民活動を行いたい市民が気軽に情報を得ることが出来るよう、情報コーナーを整備するとともに市民活動センターたちかわに登録している団体の紹介冊子を発行しました</p> <p>■情報閲覧コーナーの整備 情報揭示数:約 1,500 部</p> <p>■図書の整備</p> <p>■市民活動センター登録団体紹介冊子の発行</p> <p>・平成 20・21 年度版を、平成 20 年 7 月に発行</p> <p>・登録団体数 124 団体</p>	<p>◆市民が市民活動などに関する多様な情報を気軽に手に取ることが出来るようにしました。</p>
(11)「市民活動センター★たちかわ通信」の発行	<p>ボランティア活動、市民活動などに関する情報を基本とした通信を毎月発行し、市民活動の推進を図りました</p> <p>■市民活動センター★たちかわ通信の発行</p> <p>・発行部数 416,400 部</p> <p>(単独発行 7 回、社協あいあい通信に情報掲載 5 回)</p>	<p>◆毎月 1 回 5,300 部発行しました。なお、社協あいあい通信発行月(76,000 部)については、その通信に掲載しました。</p>
(12)「市民活動 WEB たちかわ」の充実	<p>市民活動や市民活動センターなどに関する情報が、いつでも入手できるよう、ホームページの充実を図りました</p> <p>■ホームページ:「市民活動 WEB たちかわ」の充実</p> <p>・アクセス数 24,638 件</p>	<p>◆迅速な情報入手に資するよう、定期的な更新、魅力あるページづくりを行ないました。年間アクセス数目標 24,000 件を達成しました。</p>
(13)市民活動助成事業の実施	<p>市民活動団体の立ち上げ資金や、事業資金を助成して市民活動団体の活動の充実を図りました</p> <p>■市民活動団体助成事業の実施</p> <p>○立ち上げ資金助成 4 団体 200,000 円</p> <p>○事業資金助成 16 団体 1,363,693 円</p>	<p>◆一時期減少傾向だったが、市の助成金制度の期限(3 年)を過ぎた影響か、申請数が増加した。</p>
(14)ボランティア保険の加入受付	<p>ボランティア活動中の万一に備えた、ボランティア保険、行事保険の加入を受け、安心してボランティア活動ができるよう支援しました</p> <p>■ボランティア保険の加入受付の促進</p> <p>・ボランティア保険加入者数:2,728 名</p> <p>・行事保険加入者数:111 件 4,459 名</p>	<p>◆年間を通じたボランティア保険、イベントごとの行事保険の加入を促進しました。</p>

IV 生活福祉資金貸付事業

他機関からの借入れが困難な低所得世帯等を対象に、貸付事業を行いました。

1. 生活福祉資金等貸付事業【東社協受託事業】

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)生活福祉資金	○相談 166 件／貸付 26 件 42,147,000 円 (更生資金 1 件、福祉資金 4 件、修学資金 21 件)	<p>◆母子家庭・生活保護世帯等からの相談の増加より、貸付困難事例が増えています。またチャレンジ支援事業と併せて、修学資金の相談件数も伸びています。</p> <p>◆このほか、要保護者向け長期生活支援資金の貸付決定が 1 件とありますが、現在契約手続き中の案件です。</p>
(2)離職者支援資金	○相談 18 件／貸付 0 件	
(3)緊急小口資金	○相談 29 件／貸付 10 件 850,000 円	
(4)長期生活支援資金	○相談 7 件／貸付 0 件	

(5)要保護者向け長期生活支援資金	○相談3件／貸付決定1件	20,538,000円	が、現在契約手続き中の案件です。
-------------------	--------------	-------------	------------------

2. 研修事業等

事業名等	内容	評価等
(1)生活福祉資金調査委員会	○日時:平成21年2月13日 15:00~16:30 ○参加者:7名 ○内容:生活福祉資金支払貸付審議(1件)事業報告、情報交換等	◆昨年度は支払猶予の申請が1件あり、調査委員会を開催しました。 ◆民生・児童委員の改選に伴い、昨年度は新任民生・児童委員を対象とした、実務研修会を開催しました。
(2)民生委員研修	○民生・児童委員向け生活福祉資金実務研修会 ○日時:平成21年3月16日、23日 9:30~16:00 ○参加者:135名(延べ人数) ○内容:生活福祉資金 各種制度の概要について 生活安定応援事業の概要について 民生委員の役割について、事例検討等	

V 地域包括支援センター事業

平成18年度から新たに全国的に配置された「地域包括支援センター」は、立川市においては、立川市民生委員・児童委員協議会の地区割りと同じくする6生活圏域に各1ヶ所の計6ヶ所の地域包括支援センターと3ヶ所の福祉相談センターが設置され、活動を継続しています。

立川市社会福祉協議会は「南部西ふじみ地域包括支援センター」を設置し、市内全体のネットワーク形成の中核となる基幹型センターとして、立川市と連携をとりながら、市内センター間の連携を強化し、専門機関や介護保険事業者間のネットワーク形成、地域住民との協働による地域包括支援ネットワークを構築することを目的として以下の事業を実施してきました。平成20年度については、これまでの連携基盤を強化していくとともに、地域包括支援センターの各専門職による業務別連絡会を通しての専門的取り組みの促進、ケアマネジメント支援としての介護支援専門員連絡会との協働による訪問看護ステーションや立川市医師会との情報交換の促進、市内サービス事業所の職員参加による幹事会を組織しての訪問・通所サービス事業所の連絡会開催による地域のサービス基盤の強化、地域自治会、グッドネイバー推進団体、地域の助け合いグループ等と連携しての認知症サポーター養成研修等に取り組みました。

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)総合相談支援業務	市民や関係機関・団体とのネットワークに基づいて地域の実態把握を行いながら、市民のニーズに対する総合相談支援を実施しました。 ○総合相談受付件数 2843件 ○実態把握件数 532件 ○苦情受付件数 16件 ○申請受付・代行件数 805件	◆総合福祉センターの窓口機能を活かしながら、来所・電話相談への対応、支援への結びつけ、必要に応じた訪問相談対応・継続的な支援を実施しました。 ◆担当圏域内の要支援認定者への訪問・実態把握のなかで、親族等の支援が少ない一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯への支援・対応を実施しました。 ◆前年度と比較して相談件数が増加し、また、要介護認定の申請や一般福祉施策の申請受付・代行、車椅子等の短期貸し出しの相談も増加しま

		した。
(2)権利擁護業務	<p>市福祉保健部、地域の権利擁護業務・成年後見制度推進における中核である社協地域あんしんセンターたちかわ、市消費生活センターとの連携のもとに、地域包括支援センターが地域の一時窓口として地域住民のニーズを把握し、必要な問題解決に向けての支援を実施しました</p> <p>○権利擁護事業・成年後見相談対応(あんしんセンターとの連携) 52件</p> <p>○困難事例への対応 141件</p> <p>○虐待への対応 83件</p> <p>■悪質商法へ対応の取り組み</p> <p>個別対応のほか、悪質商法撃退キャラバン実行委員会に協力し、今年度も市内6ヶ所の地域包括支援センターが担当生活圏ごとに関係機関・団体と協力して市民への被害予防に向けたキャンペーンを実施しました。実施にあたっては包括支援センターと実行委員会との打ち合わせ会を実施しました。6月21日土曜日 柴崎会館集会場 40名参加</p> <p>○地域包括支援センター権利擁護業務連絡会</p> <p>権利擁護業務関係者間の連携を促進するため、市内地域包括支援センター・福祉相談センター所属の社会福祉士、地域あんしんセンターたちかわ担当職員、高齢福祉課担当職員の連絡会議を開催。互いの取り組みの情報交換・意見交換のほか、高齢者虐待防止法、成年後見制度等の研修、援助困難事例の検討会を定期開催しました。</p> <p>①5月21日 前年度の取り組みの振り返り。総合相談・権利擁護業務における情報交換。全社協発行「老後の生き方・暮らし方ノート」について等</p> <p>②7月15日 支援困難事例の事例研究・情報交換。</p> <p>③9月16日 事務連絡・共通の状況報告書を作成し、情報交換を実施</p> <p>④11月11日 事務連絡・対応困難事例についての情報交換「高齢者虐待マニュアルの活用方法について」</p> <p>⑤1月21日 立川市高齢者虐待防止ネットワークについて成年後見申し立て資料の変更について事例検討</p> <p>⑥3月24日 事務連絡 あんしんセンターとの情報交換 「支援困難事例」の定義について 立川市高齢者虐待防止ネットワークについて</p> <p>○地域あんしんセンターたちかわ運営委員会に、基幹地域包括支援センターとして参加・協力</p> <p>○地域あんしんセンターたちかわ主催の第三者後見人連絡会に参加・協力</p>	<p>◆財産管理の課題がある利用者については、あんしんセンターと連携をとり、支援しました。</p> <p>◆一人暮らしで身寄りがない要介護・要支援世帯や、高齢者以外の家族にも精神疾患があるなどの支援困難ケースへの介入への対応依頼があり、時間をかけた支援体制構築が必要となりました。</p> <p>◆実行委員会に協力し、立川市、立川警察署、市民劇団等との協働により、市民への被害予防の周知を実施しました。</p> <p>◆柴崎町地区グッドネイバー推進協議会との共催で、地域連携を進めました。</p> <p>◆連絡会議の開催により、総合相談・支援業務における地域包括支援センター社会福祉士、社会福祉協議会職員、市高齢福祉課職員等の実務者レベルの共通認識・連携を深め、業務の平準化と振興を進めました。本連絡会において『立川市高齢者虐待防止マニュアル』の作成協力を実施しました。</p> <p>◆「立川市高齢者虐待防止ネットワーク」の立ち上げ準備会に幹事センターとして参加協力を行いました。</p>

(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	<p>在宅・施設・医療機関を通じた地域における包括的・継続的ケアを実施するため、関係機関との連携体制を構築し、介護支援専門員間の横の連携体制構築、地域の介護支援専門員と関係機関の連携促進を支援しました。また随時、介護支援専門員からの個別相談に対応しました</p> <p>■日常的個別相談指導・支援</p> <table border="0"> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>291件(平成19年度221件)</td> </tr> <tr> <td>サービス事業者</td> <td>138件(平成19年度70件)</td> </tr> <tr> <td>その他関係者</td> <td>184件(平成19年度180件)</td> </tr> </table>	介護支援専門員	291件(平成19年度221件)	サービス事業者	138件(平成19年度70件)	その他関係者	184件(平成19年度180件)	<p>◆担当圏域を中心に、基幹支援センターとして、全市的に介護支援専門員、サービス事業者、病院関係者、民生委員等からのケアマネジメントに関する相談に対応。平成19年度に比較し、相談件数が増加傾向にあります。</p>
	介護支援専門員	291件(平成19年度221件)						
	サービス事業者	138件(平成19年度70件)						
	その他関係者	184件(平成19年度180件)						
	<p>■支援困難事例への指導・助言</p> <table border="0"> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>112件(平成19年度87件)</td> </tr> <tr> <td>サービス事業者</td> <td>11件(平成19年度19件)</td> </tr> <tr> <td>その他関係者</td> <td>21件(平成19年度26件)</td> </tr> </table>	介護支援専門員	112件(平成19年度87件)	サービス事業者	11件(平成19年度19件)	その他関係者	21件(平成19年度26件)	<p>◆個別相談対応のほか、必要に応じて利用者宅や主治医面接への同行訪問、ケースカンファレンス開催支援を実施しました。</p>
介護支援専門員	112件(平成19年度87件)							
サービス事業者	11件(平成19年度19件)							
その他関係者	21件(平成19年度26件)							
<p>■ケースカンファレンスへの参加・開催支援 120件</p>	<p>◆介護支援専門員支援の一環として、サービス担当者会議・ケースカンファレンスへ参加し、支援を実施しました。</p>							
<p>■ケアマネジメント支援業務連絡会</p> <p>地域でのケアマネジメント支援業務の共通対応を推進するため、主任介護支援専門員、市担当者、地域あんしんセンター担当者の連絡会議を開催しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 5月22日・事務連絡 ・ ケアマネジメント支援事例の検討(※さいわい包括センター担当事例) ② 7月24日 ・事務連絡 ・ ケアマネジメント支援事例の検討(※たかまつ包括センター担当事例) ③ 9月25日・事務連絡 ・ ケアマネジメント支援事例の検討(※わかば包括センター担当事例) ④ 11月13日・事務連絡 ・ ケアマネジメント支援事例の検討(※わかば包括センター担当事例) ⑤ 1月23日・事務連絡 ・ ケアマネジメント支援事例の検討(※ふじみ包括センター担当事例) ⑥ 3月26日・事務連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・参加研修報告 ・次年度の取り組みについて 	<p>◆地域包括支援センターの主任介護支援専門員を中心とした共通対応を推進するため、定期開催による業務連絡会において、主任介護支援専門員の互いの情報交換、及び事例検討やスーパービジョンの方法を検討しました。</p>							
<p>■福祉用具・住環境相談</p> <p>介護支援専門員が住宅改修や福祉用具貸与等のケアプランを作成する際に、身体機能や住環境に応じた適切な福祉用具の選択が可能となるように、理学療法士の訪問による相談・助言を行いました。また、市民の高齢者福祉・ケアの質の向上を目的に、対象世帯を訪問しての相談・助言も実施しました。</p> <p>相談員：溝呂木忠さん(元埼玉県立大学教授・理学療法士)</p> <p>(年度合計 8回実施 訪問相談件数合計 16件)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①平成20年 5月14日 訪問相談 1件 ②平成20年 6月25日 訪問相談 2件 	<p>◆ケアマネジャーが対応に苦慮する住宅改修・福祉用具に関する相談に対し、専門の理学療法士が訪問して、相談対応を行いました。必要な住環境、福祉用具のアドバイスを渡し、重度化への移行の防止、本人の自立支援、家族の介護負担軽減につなげています。</p>							

	<p>③平成20年 7月16日 訪問相談 2件 ④平成20年 9月29日 訪問相談 2件 ⑤平成20年10月20日 訪問相談 2件 ⑥平成20年11月28日 訪問相談 2件 ⑦平成21年 1月22日 訪問相談 3件 ⑧平成21年 3月18日 訪問相談 2件</p>	
(4)介護予防ケアマネジメント	<p>地域における要介護予防、予防介護を推進するため、下記の事業に取り組みました。</p> <p>①地域住民・団体との協働による予防の知識の普及 ②要支援認定者(要支援1・2)のケアマネジメント業務 ③特定高齢者の把握、及び介護予防事業に関するケアマネジメント</p>	<p>◆要介護予防については、住民参加の主体的な取り組みが重要となるため、各地域包括支援センターが生活圏域ごとに介護予防教室を随時実施しました。平成20年度からは、各センターの職員が認知症キャラバンメイトの講習を受講し、順次、地域での「認知症サポーター養成講座」への取り組みを開始しています。</p>
	<p>■ 地域における予防、介護者支援、地域ネットワーク形成の取り組み、地域住民・団体との協働を推進しました。</p> <p>①富士見町住宅福祉あすなろ会定例会にセンター職員が出席し、地域の取り組みの情報交換を実施しました。 ②健康運動指導者による「家で続けられる健康体操」を総合福祉センターにて年間8回開催しました。地域の高齢者の運動機会の提供・予防の知識の普及に取り組みました。 講師:藪本隆子さん(健康運動実践指導者) ③毎月の第一地区民生委員協議会に職員が交代で出席し、情報交換・連携促進に取り組みました。 ④立川市民生委員・児童委員協議会高齢者福祉部会の研修に協力し、連携強化に取り組みました。 ・5月13日「介護保険制度と地域包括支援センターの概要」 ・7月18日「地域で支える認知症ケア」 ⑤6月23日 にしき福祉相談センターに協力し、柴崎町の至誠コミホームにて、介護予防教室「夏を乗りきるために」を開催しました。 ⑥6月29日 富士見町地区健康フェアに参加し、介護予防に関する相談対応・認知症予防の取り組みの啓発・パンフレットの配布・周知を行いました。 ⑦7月8日 老人クラブ連合会理事会運営会議に高齢福祉課職員と出席し、地域包括支援センターのPRに取り組みました。 ⑧9月5日 自治会連合会富士見町支部の会議に出席し、地域包括支援センターのPRに取り組みました。 ⑨10月26日 柴崎町地区健康フェアに参加し、介護予防に関する相談対応・認知症予防の取り組みのパンフレットの配布・周知を行いました。 ⑩10月31日 柴崎町地区グッドネイバー推進協議会と共</p>	<p>◆今後は、社協が進める小地域福祉活動の活発化が、住民参加の主体的な取組みとして、地域の1次予防活動として全国的に重要となると考えられます。</p> <p>◆富士見町・柴崎町を担当エリアとする第一地区民協には、職員が毎月交代で出席し、連携促進に務めています。</p>

	<p>催し、柴崎会館にて地域住民向けの認知症サポーター養成講座を開催しました。</p> <p>①1月17日 富士見町 レガリア自治会の要請により、自治会役員の皆さんを対象として、「認知症サポーター養成講座」を実施しました。</p> <p>◆家族介護者の集い 介護者の集いを開催し、家族介護者間の情報交換と互いの支えあいに取り組みました。参加者からは、集いに出席し、他の介護者の様子や取り組みを知ることにより、自らの状況を改めて見直し励まされたとの感想の便りが届きました。</p> <p>①6月12日 午前10時～12時 ②10月21日 午前10時～12時 ③3月4日 午前10時～12時 ④3月17日 午後1時30分～3時(市内センターの協力事業)</p>	
	<p>■地域包括支援センターの役割として要支援1・2認定者への介護予防ケアマネジメントを実施しました。</p> <p>4月管理件数143件(内委託54件) 5月管理件数145件(内委託52件) 6月管理件数143件(内委託53件) 7月管理件数140件(内委託51件) 8月管理件数141件(内委託48件) 9月管理件数143件(内委託53件) 10月管理件数144件(内委託56件) 11月管理件数142件(内委託50件) 12月管理件数142件(内委託47件) 1月管理件数142件(内委託50件) 2月管理件数145件(内委託52件) 3月管理件数151件(内委託55件)</p>	<p>◆要支援1・2認定者へ各地域包括支援センターが電話連絡、訪問相談、制度内容説明、予防給付利用の場合のケアマネジメント、居宅介護支援事業所との委託契約、毎月の給付管理業務等の実務を実施しました。</p> <p>◆予防プランのケアマネジメントを通じ、相談支援を説明しました。</p>
	<p>■特定高齢者への対応 立川市においては基本健康診査とともに、介護予防アンケートの実施が主治医により行われています。スクリーニング作業を経て、認定者に対しては、立川市が通知文、予防の取組みの解説、予防教室の案内、各生活圏域の地域包括支援センターの連絡先を周知しています。地域包括支援センターでは必要に応じた訪問指導、介護予防に関するパンフレットの配布、地域の社会資源の紹介・つなぎを実施しています。</p> <p>■介護予防業務連絡会 市内センターの介護予防業務に関する共通対応を推進するため、市内センター看護師、市健康推進課保健師・担当者、高齢福祉課担当者、市民活動センターたちかわ職員、オブザーバーとして都老人総合研究所研究員らを構成メンバーとした介護予防業務連絡会を定期開催。事務連絡、意</p>	<p>◆特定高齢者についての国基準が緩和されたため、昨年度に比較して多くの特定者が出ていますが、実態としては、現状では自立して外出を行なっている方が多い状況です。市健康推進課が通知内容を工夫し、健康教室や介護予防教室への参加による予防の知識普及・日常の取組みを促しています。</p>

	見交換・情報交換のほか、センター共同による介護予防の取組みを推進しました。(年間6回開催)	
(5)地域の共通の基盤整備・地域のネットワーク形成事業 (基幹型センターとしての地域ケアネットワーク形成の取り組み)	<p>■立川市地域ケア会議の毎月開催</p> <p>市内の地域包括支援センター、福祉相談センター、高齢福祉課、健康推進課、市消費生活相談センター、都保健所、あんしんセンターたちかわ、シルバー人材センター、市内総合病院医療ソーシャルワーカーが集い、毎月第3木曜日に定期開催して、地域ケアの状況についての意見交換、課題検討を行いました。</p>	<p>◆毎月第3木曜日実施の市内全体の関係機関ネットワーク会議として定着しています。</p> <p>◆会議冒頭で、市内に新しく開設された事業所の紹介や各団体の地域の取り組みについての紹介の時間を設け、周知を行っています。</p>
	<p>■地域包括支援センター事務連絡会</p> <p>地域包括支援センター予算・事業計画説明、コンピュータシステムの使用法、見守りネットワークの課題検討等を目的として、センター間の共通対応を推進するために開催しました。</p> <p>①4月25日 第1回地域包括運営協議会における事業報告に関する意見交換。平成19年度事業報告、及び平成20年度事業計画について</p> <p>②6月20日 「市民活動・住民による福祉活動について」 講師：宮本直樹さん(市民活動センターたちかわ運営委員長) ・市民活動センター職員との懇談会</p> <p>③8月26日 「ちょこっとボランティア」に関する共通対応について ・市民活動センターとの連携について</p> <p>④1月28日 「ちょこっとボランティア」運用上の課題検討 ・業務報告の課題検討 ・家族介護者の集いについての情報交換</p> <p>⑤2月16日 地域包括支援センター業務報告についての課題検討、改善案検討</p> <p>⑥3月31日 平成21年度からの業務報告について ・介護保険制度改定への対応について ・地域包括支援センターシステム共通マスターへの事業者情報の入力方法について</p>	<p>◆市民や関係機関への共通した対応の推進のため事務連絡会・センター長会議を開催。センター長レベルの会議、実務担当者レベル会議を随時開催し、センター間の共通認識を深めました。</p> <p>◆年度後半は、平成21年度からの介護保険制度の変更にかかる共通対応推進のために毎月開催し、介護報酬改定等への対応における役割分担や業務報告の内容変更を検討しました。</p>
	<p>■福祉相談センター事務連絡会</p> <p>市内3ヶ所設置の福祉相談センター間の連携と業務内容の共通認識を促進させるために実施。</p> <p>①4月22日 事務連絡 ・各センターの今年度事業計画について ・今後の連携について情報交換</p> <p>②10月22日 事務連絡 ・各センターの上半期の取り組み状況について ・地域包括支援センター、及び関係機関との連携について</p>	<p>◆市内3ヶ所の福祉相談センター間の情報交換の促進を目的として実施しました。市担当者、あんしんセンター担当者も参加し、地域での連携した取り組みを推進しました。</p>

	<p>■立川市介護支援専門員連絡会</p> <p>立川市全域の介護支援専門員連絡会を、基幹型支援センターとして事務局となり運営しました。</p> <p>①4月17日 行政事務説明、グループでの情報交換 ・「立川市高齢者虐待対応マニュアル・緊急時ガイドラインについて」 ・「事業所としての緊急時対応の取り組み・工夫」</p> <p>②6月19日 行政事務説明、グループでの情報交換 ・立川消防署より救急対応についての説明 ・「ケアマネジメントにおける訪問看護ステーションとの連携」:さかえ訪問看護ステーション所長 関詩子氏 ・「立川市訪問看護事業所ガイドブック」について :伊藤祐子さん(立川中央訪問看護ステーション所長)</p> <p>③10月16日 東京都介護保険集団指導 東京都福祉保健局指導監査部 指導第一課</p> <p>④2月18日 高齢福祉課事務連絡 ・介護保険制度改定に関する情報提供 ・パンフレット「きちんと知ろう! ホームヘルパー」の配布・活用について ・立川市医師会認知症サポート医、立川市歯科医師会介護保険担当理事との情報交換会の実施。</p>	<p>◆連絡会幹事らとの企画検討、円滑運営に取り組みました。</p> <p>◆市内の訪問看護ステーションスタッフと介護支援専門員との情報交換会を実施し、ケアマネジメントにおける医療連携を推進しました。</p> <p>◆東京都による介護保険制度の集団指導を実施しました。</p> <p>◆立川市医師会の認知症サポート医と介護支援専門員との認知症ケアに関する情報交換会を実施し、認知症の地域ケアにおける医療と介護の連携促進を実施しました。</p>
	<p>■連絡会幹事会</p> <p>地域包括支援センターの主任介護支援専門員6名と各生活圏域から選出された民間事業所の幹事6名の12名で幹事会を組織し、基幹型センターとして事務局となり、介護支援専門員連絡会の企画・運営を担いました。</p> <p>①5月13日 第2回連絡会の内容検討・情報交換</p> <p>②8月19日 第3回連絡会の内容検討・情報交換</p> <p>③10月20日第4回連絡会の内容検討・情報交換</p> <p>④3月12日・今年度の振り返りと来年度の計画について ・介護保険制度改定への対応について</p>	<p>◆地域包括支援センター配属の主任介護支援専門員の役割の一つとして、連絡会の幹事を担うことがあります。各生活圏域から選出された居宅介護支援事業所の幹事との顔合わせ、小地域ケア会議における連携推進も目的としています。</p>

	<p>■立川市介護支援専門員研修会 介護支援専門員に必要な対人援助技術、相談面接技術、在宅ケアに必要な知識・技術、ケアプランに必要な制度等の研修を実施しました。</p> <p>①新任研修 日時:平成20年5月14日午前9時30分～午後5時 内容:立川市高齢福祉課各係事業、社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業・成年後見制度利用支援事業、地域包括支援センター事業の説明 参加者:44名</p> <p>②新任研修2 日時:平成20年6月11日午前10時～午後4時 内容:「アセスメントの基本視点・居宅サービス計画記入のポイント」「介護予防マネジメントの実際・事例検討」 講師:南雲健吾さん(リハ職人・プラン)、高齢福祉課職員、地域包括支援センター主任介護支援専門員 参加者:46名</p> <p>③現任研修1 日時:平成20年7月15日午後1時30分～4時30分 内容:「ケアマネジメントに役立つコーチングスキル①」 講師:林 瑞哉さん((財)生涯学習開発財団認定コーチ) 参加者:56名</p> <p>④現任研修2 日時:平成20年7月15日午後1時30分～4時30分 内容:「ケアマネジメントに役立つコーチングスキル②」 講師:林 瑞哉さん((財)生涯学習開発財団認定コーチ) 参加者:36名</p>	<p>◆新任、現任、専門といった地域レベルの研修体系を構築しています。毎年5月に新規就業者向けに実施している初任者研修を受講者の要望に基づき、H20年度は2回に分けて時間をかけて実施しました。</p> <p>◆現任研修としてはケアマネジメントに役立つ実践スキルとして、コーチング研修を実施しました。</p>
	<p>■高齢者ケア研究会 多職種が集まり互いの情報交換や地域ケアについての事例研究、制度研究を実施しました。</p> <p>◆高齢者ケア研究会 実施内容</p> <p>①「精神障害者への支援と地域ネットワークを考える」 平成20年7月17日午後6時30分～8時30分 64名参加 報告①「立川市における精神保健福祉の取り組みの概要」 城之下喜美江さん(立川市障害福祉課精神保健福祉担当主査) 報告②「精神障害者への支援と地域ネットワークを考える」 寺田悦子さん((NPO)多摩在宅支援センター円理事長) グループ討議「精神障害者支援の取り組み」</p> <p>②「動作介助法を学ぶ」(講義・実技) 平成20年9月20日 午後2時～5時 立川市羽衣福祉センター 43名参加 講師:齋竹一子さん(動作介助研究会会長)</p>	<p>◆厚生労働省や東京都のケアマネジメントリーダー研修、指導者研修修了者を中心として高齢者ケア研究会幹事会を設置して企画運営を行っています。ケアマネジャーに限らない、多職種参加の地域ケア研究会として運営しています。</p>

	<p>ほかスタッフの皆さん</p> <p>③「地域での食支援をいかにつくり上げていくか～在宅での摂食・嚥下支援における地域連携を考える」 平成21年1月31日 午後2時～4時30分 立川市柏福祉サービスセンター 47名参加 講師:矢澤正人さん(多摩立川保健所副参事) 松田光子さん(柏地域福祉サービスセンター)</p> <p>◆立川市地域福祉市民フォーラム 平成20年12月13日 午後1時30分～4時30分 立川市アイムホール 「地域で支える認知症ケア」参加者184名 基調講演 下垣 光さん(日本社会事業大学准教授) 地域関係者によるシンポジウム</p> <p>◆ケア研究会幹事会 ①平成20年5月28日 「平成20年度高齢者ケア研究会事業計画について」 ②平成20年8月25日 「地域福祉市民フォーラム2008の内容検討」</p>	
	<p>■立川市訪問介護事業者連絡会 ①6月25日 ・事務連絡 ・立川消防署救急係より、高齢者の救急対応についての説明・質疑応答 ・「障害者自立支援法の概要について」 障害福祉課担当主査 ・グループ討議</p> <p>②2月19日 ・事務連絡 ・パンフレット「きちんと知ろう! ホームヘルパー」の配布・活用について ・サービス提供責任者研修「コーチングの基本」 講師:林 瑞哉さん((財)生涯学習開発財団認定コーチ)</p> <p>■立川市通所介護・リハビリテーション事業者連絡会 ①7月23日 ・事務連絡 ・事例発表:「活動プログラムへの取り組みと利用者へのアプローチ」 ①デイサービスあんねいルーム ②至誠キートスホームデイサービス ・グループ討議・情報交換</p> <p>②2月26日 ・事務連絡</p>	<p>◆予防ケアの中心となる訪問介護、通所介護の事業所間の理解を深めることを目的として、事業所連絡会を実施。グループ討議等を取り入れ、情報交換の促進を行いました。</p> <p>◆消防署や障害福祉課による事務連絡や市内事業所による先駆的取り組みの事例発表等、参加者の取り組みの参考となる情報提供を行っています。</p> <p>◆H21年度から各連絡会に幹事会を設置し、内容の企画・運営面での検討を進めています。</p> <p>◆訪問介護連絡会については、別途サービス提供責任者の懇談会を実施しました。</p>

	<p>・制度改正情報提供</p> <p>・市内新規事業所の紹介</p> <p>・グループ討議「活動プログラム・レクリエーションの目的や期待される効果」</p> <p>③3月12日</p> <p>・制度改正にかかる管理者向け研修、及び情報交換。</p> <p>講師：今 裕司さん(東京都社会福祉協議会センター部会長)</p>	<p>◆介護報酬改定において、変更点の多くあった通所サービスの管理者向けの研修を急遽開催し、理解を深めました。</p>
	<p>■立川市介護保険事業者連絡会幹事会</p> <p>10月11日 午後1時30分～4時 132名参加</p> <p>「介護保険制度の振り返り、最新動向、次期制度改正に向けて」</p> <p>講師：遠藤征也さん(厚生労働省老健局振興課課長補佐／介護支援専門官)</p>	<p>◆制度改定の動向把握と、地域ケアの促進を目的として、厚生労働省職員による講演会を実施しました。</p>
	<p>■高齢者見守りネットワーク事業相談協力員全体研修会</p> <p>①7月8日 事務連絡、全体研修、各センターに分かれたグループ討議・情報交換</p> <p>全体研修「高齢期に多い疾病とその対応」</p> <p>講師：都築義和さん(つづきクリニック院長／医学博士)</p> <p>②3月17日 ちよこっとボランティア登録者との合同研修。</p> <p>事務連絡、全体研修、各センターエリアに分かれたグループ討議・情報交換</p> <p>全体研修「地域社会とボランティア・支え合い活動」</p> <p>講師：和田 忍さん(足立区社会福祉協議会)</p> <p>■担当エリア内(富士見町・柴崎町)協力員交流会</p> <p>①7月8日 ②3月17日</p>	<p>◆基幹センターとして、見守りネットワーク相談協力員・ちよこっとボランティア登録者の全体研修を実施しました。</p>
<p>(6)広域的な地域包括ケア・支援センター関連事業への参加・協力</p>	<p>■東京都基幹型地域包括支援センターモデル事業</p> <p>東京都長寿社会対策部が実施した「東京都基幹型地域包括支援センターモデル事業」のモデル地域・センターとなり、モデル事業の検討委員会に委員を派遣するとともに、基幹型地域包括支援センターモデル事業を実施しました。</p>	<p>◆東京都が実施する基幹型センターモデル事業に参加し、都内の新宿区、世田谷区、板橋区、国分寺市等と協働して、都内地域包括支援センター事業の推進に協力しました。</p>
	<p>■東京都社会福祉協議会センター部会北南ブロック会</p> <p>都内の地域包括支援センターが参加する東京都社会福祉協議会センター部会における北南ブロック幹事市として、ブロック長の役割を担うとともに、北南ブロック内のセンター間の情報交換や職員研修を実施し、地域全体のセンターの力量向上に協力しました。</p>	
	<p>■その他</p> <p>○車いす短期貸し出し 139件</p> <p>○在宅介護ビデオ等の貸し出し 随時</p> <p>○市民からの福祉用具提供状況の市内関係機関への周知</p>	<p>◆寄付物品を中心として、市民向けに、短期の車いす貸し出しを無料で実施しました。昨年度に比較し相談が増加しています。短期貸し出しのほか、使用方法の情報を提供しました。また社協に寄せられた福祉用具の提供情報を随時、市内関係機関に周知しました。</p>

VI 市受託事業

1. 機械入浴事業

立川市から委託を受け、自宅での入浴が困難な高齢者や障害者を対象とした機械入浴サービスを実施しました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比				
登録者数	高齢者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	98	70.0%				
	障害者	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12						
登録者数合計		16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15						
利用者数	高齢者	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2			437	99.5%		
	障害者	12	11	13	13	11	11	12	12	12	12	12	11						
利用者数合計		14	13	15	16	14	14	15	15	15	15	15	13						
高齢者延利用者数		5	8	6	9	11	10	10	9	8	8	8	6					535	92.4%
障害者延利用者数		33	38	40	40	32	35	39	36	35	35	35	39						
延利用者数合計		38	46	46	49	43	45	49	45	43	43	43	45						
実施日数		21	20	21	22	21	20	21	18	19	19	19	21						

2. 難病患者等ホームヘルプサービス

立川市から難病を患っている方々へのホームヘルプサービス事業を受託し、自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護や家事援助サービスを提供しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用者数	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	11	100.0%
身体介護(時間)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	0.0	1.5	1.5	1.5	1.5	16.5	84.6%
家事援助(時間)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	0.0	1.5	1.5	1.5	1.5	16.5	117.9%
合計	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	33.0	98.5%

VII 福祉作業所事業

企業就労が困難な心身障害者が通所し、授産作業等を通して収入を得ることで自立した生活を送れるよう、福祉作業所を運営しました。また、各作業所では、それぞれの地域性をいかして、地域住民や団体との連携により地域交流活動を行っています。また、平成18年10月の障害者自立支援法の施行に伴い、一番福祉作業所については、市町村事業である地域活動支援センターに移行しました。

一番福祉作業所■

1. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
月初日在籍者数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132	11.0
開所日数(日)	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	21	243	20.3
総利用人数(人)	176	172	169	194	161	171	199	164	180	148	136	185	2,055	171.3
利用率(%)	76.2	78.2	73.2	80.2	69.7	77.7	82.2	82.8	86.1	70.8	65.1	80.1	76.9	

◆月平均工賃: 13,882円

2. 授産作業等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)請負作業	○付録袋詰め ○お菓子等化粧箱組立て ○ところんタレ封入作業 ○景品シール貼り など	◆工賃アップを目指す方向性を打ち出した結果、利用者の作業意識が高くなった。しかし、作業が複雑化してきているので、個人の作業能力に偏りが出てきているのが課題です ◆お菓子化粧箱作りが軌道に乗り、大幅な工賃アップに繋がった。
(2)市受託作業	○北口歩行者専用道路(都市軸)清掃作業 毎月2回(隔週) ----- ○花苗育成作業	◆路上生活者のゴミの量が非常に多く、分別に時間がかかり個別支援指導が困難な場合があります。
(3)喫茶宅配	今年度も天王橋会館の利用団体への喫茶宅配サービスを実施。	◆現状維持
(4)手づくり品製作販売	キャンドルを製作販売しました	◆作業が忙しく、手づくり作品に関わる時間がとれない。市スポーツ大会ボランティア景品のみの販売となってしまった

3. レクリエーション活動・社会適応訓練等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)外食	5月29日 江戸一すたみな太郎にて実施。利用者9名、職員3名参加。 ----- 11月27日 パーミヤン立川幸町店にて実施。利用者9名、職員3名参加。 ----- 2月19日 江戸一すたみな太郎にて実施。利用者7名、職員3名参加。	◆利用者が主体となり、行き先を検討、実施していますが、移動時に介助が必要な利用者が多くなり、介助の人手が不足気味となっています。
(2)一日外出	○サイボクハム見学。12月11日実施。 利用者8名、職員4名参加 ----- ○昭島 MOVIX にて映画鑑賞 3月19日実施。利用者8名、職員4名参加。	◆利用者の希望にて実施。普段体験出来ないことができて喜んでいました。
(3)カラオケ大会	天王橋会館にて月1回実施。	◆通信カラオケが整備されていて、舞台もあり、気持ちよく歌うことが出来る。また、月に一度実施しているので励みになった。

4. ボランティア促進等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)夏体験ボランティアの受入れ	ボランティア活動の促進と活動の受入れ 7月25～7月31日:1名 7月31日のみ:1名 8月1日のみ:3名 8月6日～8日:4名 8月13日:1名 合計10名	◆1週間、3日間と参加して下さった方がいて、利用者との交流も深まり、とても良かった。
(2)日中活動時のボランティアの受入れ	月曜日、定期的に来てくださっているボランティアは今年度も継続。新たに昨年2月に受け入れたボランティアが	◆ボランティアさんが天王橋会館祭り等の作業所地域交流行事に家族で参加さ

	定期的に活動に参加して下さることになった。	れ、利用者とも関係が深まったと感じています。
	5月より西砂・一番市民活動ネットワークが作業所の庭を整備、花などを植えるガーデニングボランティアをして下さる。その後は定期的に月2～3回、ボランティアをして下さる。	◆庭が整備され、近隣の方が作業所の庭を見てくれるようになった。西砂・一番市民活動ネットワークと顔見知りになった。

5. 地域活動事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)天王橋会館祭り	6月21日、22日に開催。利用者6名、家族6名、ボランティア10名参加。 焼きそば、ポップコーンの販売、作業所で喫茶を行った。	◆会館利用者をはじめ、地域住民の方々に施設を紹介する絶好の機会となっています。
(2)松明祭り	8月24日、松中小にて開催。 職員1名、ボランティア2名参加。	◆手作り作品が作成できず、喫茶のみの参加。来年度について検討が必要。
(3)もちつき(天王橋会館わいわい教室)	昨年度より天王橋会館わいわい教室との共催となり、今年も実施。利用者10名、家族等10名、ボランティア10名参加。総参加人数は120名	◆地域住民との交流が深まるとともに、天王橋会館との連携強化が図られました。

栄福祉作業所■

1. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
月初日在籍者数	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288	24.0
開所日数(日)	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	21	243	20.3
総利用人数(人)	432	407	439	413	403	402	451	361	387	394	377	422	4888	407.3
利用率(%)	82.3	84.8	87.1	78.2	80.0	83.8	85.4	83.6	84.9	86.4	82.7	83.7		83.6

◆月平均工賃: 10,498円

2. 授産作業等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)請負作業	○付録袋詰め(通年) ○岩塩袋詰め・検品(通年) ○ポストイング(通年) ○ゴムひも通し(通年) ○入浴剤等の充填(通年) ○説明書袋入れ(通年) ○お菓子等化粧箱組み立て ○ところてんタレ封入	◆作業内容の高度化により作業のできる方とできない方が明確になってきています。 ◆職員の入れ代わりが多く外出する作業が困難になりポストイングは2月より休止中です。 ◆岩塩は昨年と同じ収入を得ることができました。 ◆新しく箱の組立作業が入りました。
(2)市受託作業	○北口歩行者専用道路(都市軸)清掃作業 毎月2回(隔週) ○花苗育成作業 年3回	◆路上生活者のゴミの量が非常に多く、分別に時間がかかっています。 ◆市営駐車場が無くなったため、障害者割引での時間制限内(2時間以内)に

	○花壇管理 通年	出庫しないと追加料を支払うことになってしまいました。
(3)手づくり品製作販売	キャンドル、ハーブ入り小物等を製作販売しました	◆下請け作業に時間を取られ、製作時間が取れなかったこと等が課題です。

3.レクリエーション活動の実施

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)ランチショッピング	5月1日(木) 利用者21名、職員6名、参加。 近隣のフクシマヤ等3店舗からお店を選び昼食を購入	◆決められた金額内で自分の好きなものを購入。金額以上の品を選んだ方に対する支援等とおして、社会経験を積むことができたと感じています。
	9月4日(木) 利用者19名 職員6名、参加 近隣3店舗で昼食の買い物を実施	◆決められた金額の中で購入することができるようになってきました。
(2)レインボープール	7月30日(水)、31日(木) 利用者13名参加	◆プール活動を希望されない方は通常通りの作業を行いました。
(3)流しそうめん	8月7日(木) 利用者19名、ご家族3名 ボランティア1名、参加。	
(4)カラオケ大会	2月2日(月) 利用者22名参加。ボランティア 2名 エルトレイン 昼食ラーメンスクエア	
(5)ボウリング大会	3月26日(木) 利用者19名参加。東大和ビックボックス 昼食華屋与平	

4. ボランティア促進等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)日中活動時のボランティア	2名の方が年間通して活動されました。	◆定年退職者の社会貢献活動および精神障害の方の社会復帰に向けてのボランティア活動受け入れ

◆延べ受け入れ人数: 179名

5. 地域交流活動等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)セレモアつくば大感謝祭	10月11日(土) 職員3名参加 変則交代	◆大勢の地域の方がこられて販売と作業所の紹介等もできました。
(2)栄作業所夏まつり	9月13日(土) 参加者 利用者21名、職員7名、家族9名、ボラ5名 来場者約200名 ・協力/栄町グッドネイバー、中砂自治会、子ども会、しあわせ会 ・第8小学校の金管バンド演奏実施 ・地域の方々との交流を目的としています	◆毎年開催することにより、各団体関係者と作業所利用者との交流が図られてきています。

(3)もちつき	2月22日(日) 参加者 利用者20名 職員7名、地域自治会関係者、ボランティア 来場者約200名 ・地域の方々との交流を目的としています	◆お天気もよく多くの来場者があり、地域の行事としては盛り上がりましたが、作業所の利用者が関わることがあまりできず、ほとんど見学状態になってしまったことが課題です。
---------	---	---

富士見福祉作業所■

1. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
月初日在籍者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	9.0
開所日数(日)	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	20	20	243	20.3
総利用人数(人)	171	166	174	172	152	159	176	141	149	154	153	157	1,924	160.3
利用率(%)	90.5	92.2	92.1	86.9	80.4	88.3	88.9	87.0	87.1	90.0	85.0	87.2		88.0

月平均工賃:13,746円

2. 授産事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)請負作業	○付録袋詰め ○石鹸袋詰め ○ダイレクトメール封入作業 ○ポストイング ○お菓子等化粧箱組立て	◆新規作業の開拓をし、利用者個々の適性に応じた作業の確保及び目標工賃を支給できるように努めました。
(2)市受託作業	○北口歩行者専用道路(都市軸)清掃作業 毎月2回(隔週) ○花苗育成作業	

3. レクリエーション活動の実施

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)一日外出 年2回	○5月12日にサーカス観賞。(利用者7名参加) ○11月28日にバスにて東大和へボウリングを実施。(利用者7名参加) ○3月4日にサーカス観賞。(利用者6名参加)	◆利用者自身が行く場所を決めて自己決定への意識向上を図ることができました。また普段利用することの少ない「公共交通機関」を使用することにより社会体験ができました。 ◆「障害者」は同年代の障害のない方に比べ、ライフステージにおける社会経験が極端に少ないため、施設行事により社会経験の向上を図ってきました。しかし、施設でできる範囲の限界を感じています。
(2)季節行事	○お花見:記念公園へ行く(利用者9名参加) ○プール活動:7月、8月の金曜日に生活介護と一緒にセンターのプールを使用。 ○立川市スポーツ大会:10月5日開催。(利用者6名、ご家族4名) ○クリスマス会:12月20日にあすなる会を招待して手づくりケーキを作り開催。 ○新年会:1月6日にモノレールで高幡不動へ初詣に行く。(利用者9名参加) ○外食:10月:ラーメンスクエア、3月:すたみな太郎	

4. ボランティア・実習生の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)夏体験ボランティア	○8月:延べ8名 ○9月:述べ9名 ○10月:述べ2名	◆昨年度は参加者がいなかったが、今年度は行事参加を取り入れ一気に増えました。
(2)日中活動時のボランティア	・通年:あすなる会の作業ボランティア、切手切り活動 ・作業ボラ:8月～12月まで1名定期的に活動(延べ31名)	◆今年度も引き続き、年間を通してあすなる会のボランティア活動を受け入れたことにより作業効率が上がると同時に、交流が図られました。 ◆今年度はあすなる会以外のボランティアの受け入れが市民活動センターより紹介がありました。

5. 地域自治会との交流

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)地域老人会との交流	○ゲートボール…毎週金曜日に自治会内の公園で行う。 ○10月4日ゲートボール市民大会参加、初めて1勝する。 ○切手きり…毎月第4火曜日にサロンの場として作業所にて一緒に行う。 ○毎月第1, 3火曜日に公園清掃のお手伝いに行く。	◆地域の人たちに気軽に声をかけていただくようになり、地域での見守り体制も少しずつ構築されつつあります。 ◆多くの経験をするにより、利用者の社会経験の向上が見込まれます。
(2)地域交流会	○7月2日に流しそめん開催。(利用者7名、ご家族、地域参加14名、夏ボラ2名) ○3月28日にもちつき開催。(利用者7名、ご家族、地域参加23名)	

一番・栄・富士見福祉作業所共通行事■

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)遠足	10月3日に3作業所合同で群馬県へりんご狩りに行きました。 (利用者一番9名・栄20名・富士見7名参加)	◆自分でりんごを取ることが出来たことは社会経験を積む機会となりました。また、直接触れて楽しむことができることは全盲の利用者にとって、より良い経験をもたらしたと感じています。
(2)宿泊	6月25日～6月27日 山梨県河口湖畔に宿泊:(山梨・富士ビューホテル) 花の都公園、富士急ハイランド、桔梗屋、見学 (利用者富士見8名・栄20名・一番8名参加)	◆日常と違った環境で過ごすことにより、多くの社会経験を積むことができました。
(3)クリスマス会	12月25日に3作業所合同で忘年会を開催。 中国料理 吉祥菜館 (利用者:一番9名・栄22名・富士見8名参加)	◆最優秀出席者など利用者の表彰を行ったことが励みになったようです。
(4)立川市障害者スポーツ大会	10月5日(日)開催 立川市泉体育館	◆実行委員1名選出。 視覚、聴覚、身体、知的等様々な障害者が協働で開催。障害により抱える課題が違うため、競技の調整等が難しいところがあります。

(5)砂川学習館まつり	9月15日(日)開催	◆作品、パネル展示等により作業所並びに生活介護支援事業所の活動を紹介しました。
(6)健康診断	○多摩立川保健所にて健康診断実施	◆利用者の健康状態の把握ができ利用者に合った作業の選択ができました。 ◆再検査の診断が出た利用者の家族に検査をお願いするが、なかなか行かないというのが課題です。

VIII 居宅介護支援事業

利用契約された市民に対し、介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、質の高いケアマネジメントを行うことにより、市民の安心に寄与しています。また契約制度におけるセーフティネットとして、援助困難事例、介護予防計画作成への対応を、立川市、地域あんしんセンターたちかわ、地域包括支援センターと連携して実施しました。

事業名等	実績(実施日など)													評価等		
(1)介護サービス計画の作成	年間															
介護サービス計画																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前年比%	
介護1	32	37	36	36	36	36	42	40	43	41	46	44	469	419	111.9	
介護2	29	28	29	32	29	30	33	31	28	29	29	25	352	274	128.5	
介護3	15	16	19	19	19	17	16	17	17	18	18	19	210	194	108.2	
介護4	15	16	15	19	21	20	19	17	18	18	18	17	213	204	104.4	
介護5	12	13	11	10	12	12	11	11	13	12	9	9	135	136	99.3	
合計	103	110	110	116	117	115	121	116	119	118	120	114	1379	1227	112.4	
予防支援計画 ※地域包括支援センターからの受託作成																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前年比%	
要支援Ⅰ(受託)	7	8	7	7	7	4	7	6	6	6	6	8	79	113	69.9	
要支援Ⅱ(受託)	8	7	9	8	7	4	6	6	4	5	5	5	74	116	63.8	
合計	15	15	16	15	14	8	13	12	10	11	11	13	153	229	66.8	
要介護認定調査																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
要介護認定調査	8	4	5	4	4	4	3	2	5	4	4	2	49			
<p>◆地域包括支援センターに併設された居宅介護支援事業所として、地域あんしんセンターとも連携をとったセーフティネットの役割、及び地域包括支援センターの各種研修・連携会議業務等の補助的役割を担っています。</p> <p>◆介護サービス計画は前年度実績に比較して152件増加しています。</p> <p>◆市内地域包括支援センターに協力して、要支援認定者の予防支援計画を作成しています。</p> <p>◆予防支援計画は前年度実績に比較して76件減少しています。他圏域の予防プラン作成が減少しています。</p>																

Ⅸ 通所介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者の孤立感の解消や心身機能の維持などを図るため、通所介護事業所を経営し、趣味・生きがい活動や食事の提供、入浴サービス等を行いました。

1. 利用実績

『一般型』（要介護、介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年
一日当たりの定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
開所日数…(D)	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	21	243	265
「要介護」 実利用者数…(a)	26	29	33	38	38	36	34	36	36	37	35	36	414	277
延利用者数…(a')	145	153	180	202	206	187	186	165	186	177	191	228	2206	1441
「介護予防」 実利用者数…(b)	17	17	15	16	19	20	17	21	20	23	22	22	229	267
延利用者数…(b')	59	72	70	83	94	91	94	98	91	101	99	94	1046	1266
実利用者数合計 (a+b)	43	46	48	54	57	56	51	57	56	60	57	58	643	544
延利用者数合計 (a'+b')…(N)	204	225	250	285	300	278	280	263	277	278	290	322	3252	2707
利用率【%】 N/(各月定員×D)	48.6	56.3	59.5	64.8	71.4	69.5	63.6	73.1	72.9	73.2	76.3	76.7	66.9	51.1

*「一般型通所介護」は月曜～金曜の週5日間開所、土曜は「認知症対応型」専門のため休業日としています。

『認知症対応型（地域密着型）』（要介護、介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年
一日当たりの定員	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
開所日数…(D)	25	24	25	26	26	24	26	23	23	23	23	25	293	294
「要介護」 実利用者数…(a)	21	22	22	22	20	23	20	19	19	19	22	24	253	239
延利用者数…(a')	165	162	169	177	178	146	170	141	146	141	155	191	1941	1787
「介護予防」 実利用者数…(b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延利用者数…(b')	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実利用者数合計 (a+b)	21	22	22	22	20	23	20	19	19	19	22	24	253	239
延利用者数合計 (a'+b')…(N)	165	162	169	177	178	146	170	141	146	141	155	191	1941	1787
利用率【%】 N/(各月定員×D)	55	56.3	56.3	56.7	57.1	50.7	54.5	51.1	52.9	51.1	56.2	63.7	55.2	50.7

2. 会議や研修など

事業名等	実績(実施日など)	評価等
内部研修	○H20.5.23(金) 社会福祉協議会のデイサービスについて ○H20.2.27(金) 動作介助研究会による移乗介護について	社協理念とデイのあり方について全職員で確認
会議	○デイサービス運営会議(常勤職員)(月2回) ○全体会議 H20.5.23、6.27、7.11、11.7、12.16、H21.2.27、3.24 (年7回)	短期間雇用職員も含めた全職員での意見交換に力を入れました
講師等	○月2回 音楽療法、健康体操、書道 ○月5回 理学療法(集団的リハビリ) ~8月まで ○週2回 理学療法(集団 及び 個別リハビリ) 9月~から	機能訓練の充実を図りました
外部研修参加	○認知症介護実践者研修:都実施 H20.5.7~30 ○バリデーションセミナー2008 H20.5.18 ○認知症対応型サービス事業管理者研修:都実施 H20.6.3~6.9 ○認知症介護実践者研修:都実施 H20.8.21~9.26 ○認知症対応型サービス事業管理者研修:都実施 H20.10.1~10.7 ○自動車運転職員 安全運転研修 H20.11.22 ○認知症介護実践者研修:都実施 H20.10.20~11.27 ○認知症介護研修公開講座:都実施 H20.12.8~12.9 ○高齢者権利擁護推進事業管理者研修 H20.12.16	1名(管理者) 1名 1名 1名(看護師) 1名(看護師) 3名(運転職員) 1名(生活相談員) 2名(介護職員) 1名(管理者)
ボランティア等受入	○三菱東京UFJ銀行新任研修ボランティア体験受入 ○明星大学社会福祉現場実習 ○市立立川第一中学校職場体験受入 ○星槎学園受入	5名×2日 1名 3名 6名
その他	○結核接触者健診:多摩立川保健所 H20.12.16、17 ○立川市国立市救急業務連絡協議会 H20.6.27、8.1、11.17	対象者 23名受診※

3. 事故報告 (※)

体調不良にて欠席中の利用者について、H20.10.22 付けにて、結核感染症疑いの利用者発生による事故報告を立川市に行いました。多摩立川保健所と連携し、利用者及び職員・関係者等の接触者健診に協力実施。H21.1.8、保健所より「集団感染は認められない」との回答を得ました。

X 訪問介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう、訪問介護事業所を経営し、身体介護や家事援助サービスを提供しました。

1. 利用実績

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
介護予防訪問介護利用者数		44	44	45	43	43	40		
訪問介護利用者数		99	102	103	102	97	94		
利用者数合計		143	146	148	145	140	134		
時間数	介護予防	384.0	383.5	392.5	376.5	336.5	368.5		
	身体介護	737.0	708.5	720.0	773.0	693.0	684.0		
	生活援助	1072.0	1141.0	1132.5	1221.5	1058.5	1024.0		
	合計	2193.0	2233.0	2245.0	2371.0	2088.0	2076.5		
項目		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
介護予防訪問介護利用者数		38	37	35	38	38	40	485	82.8%
訪問介護利用者数		100	99	98	94	94	99	1181	102.4%
利用者数合計		138	136	133	132	132	139	1666	94.1%
時間数	介護予防	347.0	302.5	326.0	293.5	304.5	349.0	4164.0	78.7%
	身体介護	686.0	613.5	688.0	601.5	595.0	627.0	8126.5	92.6%
	生活援助	1043.5	909.5	1019.5	914.5	936.0	1068.5	12541.0	98.3%
	合計	2076.5	1825.5	2033.5	1809.5	1835.5	2044.5	24831.5	92.5%

2. 会議や研修など

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)ヘルパー研修	○H20.4.1(火) ヘルパーの心得 グループワーク ○H20.6.30(月) 食について 真辺恵子さん(介護食士) ○H20.10.31(金) 対人援助について 浦田さん、伊藤さん(八王子市) ○H19.11.28(金) 感染症対策(臨時研修)について (内部講師:看護師) ○H21.2.27(金) 動作介助研究会による移乗介護(@訪問看護)	42名
(2)会議	○サービス提供責任者会議(月1回) ○サービス提供責任者 業務改善会議(月1~2回) ○ヘルパー自主グループ会議~ケア内容等の研究(年6回)	
(3)外部研修参加	○精神保健福祉基礎研修 H20.7.3、7.3 ○神経難病等在宅療養者の災害時支援 H20.7.31 ○対人援助技術研修(福山和女氏) H20.8.25、8.27 ○メンタルヘルスサポート研修 ○大逆転の痴呆ケア(立川社会福祉士会) H20.10.4 ○認知症介護現場におけるストレスマネジメント研修 H20.2.17 ○ALSの病気の理解と療養について H21.2.16 ○パーキンソン病の療養生活上の工夫 ○精神保健福祉研修(アルコール問題) ○精神保健福祉研修(薬物問題) ○生活から見えてくる認知症の初期症状と対応のポイント	1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名

X I 生活介護支援事業

地域において就労の機会等が得がたい在宅重度障害者が通所し、機能訓練、文化的活動、日常生活訓練等を行うことにより、その自立を図ると共に生きがいを高めることを目指します。

■生活介護支援事業所利用状況(定員 40 名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月初日在籍者数	39	39	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	448	37.3
開所日数(日)	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	21	243	20.3
延べ利用者数(人)	633	602	619	652	559	589	644	522	554	568	562	605	7,109	592.4

■生活介護支援事業所:障害程度区分別登録者数(定員 40 名)

障害程度区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分3(人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
区分4(人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
区分5(人)	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
区分6(人)	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
合計(人)	39	39	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37

生活介護支援事業所(身体障害者デイルーム:マンボウ) ■

1. 利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月初日在籍者数	21	21	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	232	19.3
開所日数(日)	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	21	243	20.3
総利用者数(人)	361	346	343	356	295	318	359	295	306	316	313	334	3,942	328.5

緊急一時保護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用回数(回)	14	18	23	17	12	16	23	14	13	10	17	17	194	16.2
利用者数(人)	7	11	12	9	7	9	11	7	9	6	9	9	106	8.8
利用時間(時間)	66.0	74.5	102.0	78.5	56.0	81.0	116.5	64.0	64.5	48.5	69.5	73.0	894.0	74.5

障害程度区分別利用状況

障害程度区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分3(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分4(人)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
区分5(人)	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
区分6(人)	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	170

2. 活動実績

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)PT(理学療法)	東京小児療育病院所属の理学療法士より指導を受ける ・6回実施	◆基本動作能力の機能回復・維持を目的に、動きの悪くなった関節の可動域拡大や筋肉低下に対する強化、体力の維持・向上を図りました。
(2)OT(作業療法)	東京小児療育病院所属の作業療法士より、指導を受ける ・6回実施	◆日常生活の諸動作に必要な心身機能の回復・維持を図りました。 ◆利用者の加齢に伴い、自助具から支援方法まで多くの見直しを行いました。特に訓練前のマッサージなどのサポートの強化も図り、筋緊張の軽減などの効果が見られました。
(3)プール活動	プールを利用し、全身運動を行う ・週2回実施	◆日常生活では使わない低下した筋力の向上およびリラクゼーションの一環として実施しました。 ◆加齢により、これまでのトレーニングが難しくなった利用者の運動量の維持など効果を挙げてきました。
(4)調理活動	調理室とランチルームにて実施 ・月2回実施	◆メニュー決めから、買出し、準備、調理、片付けと一貫した活動をとおして、社会体験と社会性の育成を図りました。
(5)足浴	デイルームにて ・毎週火曜日・木曜日に実施	◆車椅子の生活による関節の硬化等に対してのマッサージやリラクゼーションを提供。体幹機能の促進を目的に実施しました。
(6)半日外出	グループに分かれて実施 ■木下大サーカス ・4月1日参加者3名、2日参加者8名、8日参加者4名、16日参加者3名、23日参加者2名 ■お花見(昭和記念公園) ・4月3日参加者3名、4日参加者3名、9日参加者4名、10日参加者3名、14日参加者3名、15日参加者3名 ■電車利用体験(西立川～立川駅間)と立川駅周辺散策 ・5月12日参加者2名、19日参加者3名、20日参加者3名、21日参加者3名、22日参加者3名、28日参加者3名 ■紅葉見学(昭和記念公園) ・10月14日参加者6名、15日参加者5名、20日参加者2名、22日参加者2名、	◆市内外の施設等へ出掛け、社会経験の幅を広げるよう支援しました。
(7)一日外出	グループに分かれて実施	◆市内外の施設等へ出掛け、社会経験の幅を広げるよう支援しました。

	<p>■ボウリング又はカラオケ(東大和BIG BOX)</p> <p>・6月9日参加者3名、10日参加者3名、19日参加者3名、23日参加者3名、9月3日参加者3名、17日参加者2名、24日参加者3名、10月3日参加者2名</p> <p>■映画鑑賞(昭島 MOVIX)</p> <p>・7月22日参加者2名、23日参加者3名、24日参加者3名、29日参加者3名、8月5日参加者3名、6日参加者3名、11日参加者2名</p> <p>■外食(日の出イオンモール他)</p> <p>・1月19日参加者3名、22日参加者3名、2月2日参加者3名、10日参加者2名、18日参加者2名、3月18日参加者3名</p> <p>■イチゴ狩りと入間アウトレット見学(埼玉県毛呂山町)</p> <p>・5月27日参加者2名</p> <p>■入間アウトレットとサイボクハム見学(埼玉県入間市)</p> <p>・6月11日参加者2名</p> <p>■三鷹の森ジブリ美術館(東京都三鷹市)</p> <p>・6月16日参加者2名、7月16日参加者2名、10月9日参加者2名</p> <p>■フルーツ公園と周辺散策(山梨県笛吹市)</p> <p>・7月9日参加者2名、15日参加者2名、9月30日参加者2名、10月6日参加者2名</p>	
(8)音楽	<p>利用者自身が選曲した曲をかけ、発声したり、楽器を鳴らしたりそれぞれに音楽を楽しむ。</p> <p>・週1回実施</p> <p>・8月～10月は週1回、音楽大学実習生による演奏会を実施</p> <p>・ボランティアによる音楽会 3回実施。</p>	<p>◆利用者のリフレッシュ、レクリエーションを目的に実施。各自の好きな音楽を探し、実践することにより他の活動においても自身の意思を示されるようになっていきます。</p> <p>◆生演奏による活動で、利用者の楽器に対する興味など普段と異なる表情が見られました。</p>
(9)避難訓練	<p>利用者、職員に対して、毎月1回避難誘導等の訓練を実施する。</p> <p>・月1回実施</p>	<p>◆継続的に行うことで災害時にすばやい避難を可能にするよう実施。定期的に行うことで、職員が手順などを覚え、すばやい行動が取れるようになってきました。</p>
(10)レクリエーション	<p>職員が考えたゲーム等を行う</p> <p>・10月 運動会</p>	<p>◆集団で行うゲームを通して協調性を身につけ、集団の中で自己決定および意思表示を行う経験を得ることを目的としています。</p>
(11)季節行事	<p>季節行事や季節にあったお菓子を作る</p> <p>・4月 お花見、8月納涼祭、10月 運動会、12月 クリスマス会、1月新年会</p>	<p>◆行事準備を自ら行うことで、参加しつくりあげる経験を得て、協調性および主体性を養うために実施しています。</p>
(12)健康相談	<p>嘱託医による相談を行う</p> <p>・6月25日受診者2名、9月24日受診者4名、12月17日受診者4名、3月25日受診者4名</p>	<p>◆利用者の健康保持等、適切な支援のため実施しました。</p>

(13)お菓子作り	調理室とランチルームにて実施 ・毎月1回実施	◆メニュー決めから、買出し、準備、調理、片付けと一貫した活動をととして、社会体験と社会性の育成を図りました。
(14)家族懇談会	活動方針、自立支援法等についての説明。 ・コスモス、マンボウ合同で年2回実施	◆法改正による変化、今後の活動方針等について説明を行いました。

3. 地域交流活動

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)他施設との交流	小平市障害者センターとの交流を行う。 ・2月20日実施	◆他施設の利用者との交流を通じて、出会いによる新たな発見を得ることをねらいとしています。

4. 実習生等の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1) 特別支援学校 実習生受け入れ	実習生の受け入れ ■村山特別支援学校 ・7月7日～7月11日 女性1名受入れ ・10月27日～10月30日 男性1名 ■武蔵台特別支援学校 ・11月17日～11月21日 女性1名	
(2)実習生受け入れ	■「教員免許法の特例による介護等体験事業」における介護体験者の受け入れ ・8月4日～8日 男性1名・女性2名 ・8月11日～15日 女性3名 ・8月18日～22日 女性3名 ・8月25日～29日 女性3名 ・9月1日～5日 男性1名・女性2名 ・9月8日～12日 男性1名・女性2名 ・9月29日～10月2日 女性3名 ・10月6日～10日 男性1名・女性1名 ■社会福祉士受験資格取得のための実習生受け入れ ・8月5日～7日 女性1名 ・8月25日～27日 男性1名 ・8月28日～29日 男性1名 ・9月11日～12日 女性1名 ・9月18日～19日 女性1名 ・9月24日～25日 男性1名 ・10月1日～3日 男性3名	

生活介護支援事業所(知的障害者デイルーム:コスモス) ■

1. 利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月初日在籍者数(人)	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	18.0
開所日数(日)	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	21	243	20.3
総利用者数(人)	272	256	276	296	264	271	285	227	248	252	249	271	3,167	263.9

緊急一時保護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用回数(回)	2	4	0	2	1	5	4	5	2	4	4	6	39	3.3
利用者数(人)	2	4	0	2	1	4	2	4	2	2	2	2	27	2.3
利用時間(時間)	6.50	12.50	0.00	7.00	1.50	14.50	13.50	11.75	6.25	8.25	14.25	23.00	119.0	9.9

障害程度区分別利用状況

障害程度区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分3(人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
区分4(人)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
区分5(人)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
区分6(人)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

2. 活動実績

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)音楽療法	音楽療法士の指導により実施。 ・毎月2回実施	◆音楽の持つ生理的、心理的、社会的機能を用いて、心身機能の維持改善、生活の質の向上を図りました。特に情緒不安定、多動な方が落ち着いてプログラムに参加できていました。
(2)PT(理学療法)	東京小児療育病院所属の理学療法士より指導を受ける ・年4回実施	◆基本動作能力の維持を目的に体力の維持・向上を図りました。
(3)OT(作業療法)	東京小児療育病院所属の作業療法士より指導を受ける ・年2回実施	◆日常生活の諸動作に必要な心身機能の回復・維持を図りました。特に身体と知的障害を併せ持つ方の介助の注意点について、具体的な目標を立案することができました。
(4)避難訓練	利用者、職員に対して、毎月1回避難誘導等の訓練を実施した ・毎月1回実施	◆継続的に行うことで、すばやく行動することが出来るようになってきました。
(5)調理	調理室とランチルームにて実施。 ・毎月1回実施	◆調理活動をとおして、準備、片付けなど日常生活に必要な動作を経験しました。
(6)お菓子作り	調理室とランチルームにて実施。 ・毎月1回実施	◆お菓子を作り、食べて楽しむことを目標に実施しました。

(7)プール活動	健康運動指導士による指導を受け実施。 ・年 8 回実施	◆水の抵抗や水圧、浮力を活かして水中運動を行うことにより、体力の維持・向上を図るよう実施しました。特に情緒不安定な方に対する水中でのリラックス効果が顕著に見られました。
(8)健康体操	健康運動指導士による指導を受け実施。 ・年 12 回実施	◆バランスボールやゴムボールを使用した体操を行い、体力の維持・向上を図るよう実施しました。特に多動な方が落ち着いて活動に参加することができました。
(9)一日外出	<p>■昭和記念公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月19日 参加者 3名 ・5月22日 参加者 2名 ・5月23日 参加者 3名 ・5月26日 参加者 2名 ・5月30日 参加者 1名 ・6月6日 参加者 3名 <p>■町田リス園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月6日 参加者 3名 ・10月16日 参加者 3名 ・10月17日 参加者 3名 ・10月29日 参加者 3名 ・11月17日 参加者 3名 <p>■その他一日外出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月10日 参加者 2名(葛西臨海公園) ・9月17日 参加者 2名(お台場) ・10月10日 参加者 1名(葛西臨海公園) ・11月14日 参加者 2名(葛西臨海公園) ・12月12日 参加者 2名(お台場) ・1月22日 参加者 1名(しながわ水族館) 	<p>◆市外の施設などへ出かけ、社会参加の幅を広げることを目標に実施。行動範囲、趣味趣向が広がる利用者が見られました。</p> <p>◆公共交通機関の使用を体験できました。</p>
(10)健康相談	嘱託医により実施 ・6月25日 利用者 4名 ・9月24日 利用者 3名 ・12月17日 利用者 4名 ・3月25日 利用者 4名	◆相談結果により、病院にて詳細な検査をするなど、利用者の健康に対する意識が高まりました。
(11)健康診断	多摩立川保健所にて実施 ・6月2日 利用者 2名 ・6月30日 利用者 3名 ・7月7日 利用者 2名 ・7月14日 利用者 2名 ・7月28日 利用者 3名 ・8月4日 利用者 2名 ・8月25日 利用者 1名	◆利用者の健康保持など、適切な支援のために実施しました。
(12)家族懇談会	活動方針、自立支援法についての説明 ・コスモス、マンボウ合同で2回実施 12月11日 参加者 21名 3月24日 参加者 20名	◆法改正による変化、今後の活動方針等について説明しました。

3. 地域交流活動

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)ボランティア・市民団体との交流	・6月18日 奇術愛好会(2名) ・12月2日 そばうち受講者との交流 ・12月24日 虹の音楽隊(7名)	
(2)ボランティア	・4月 延べ10名(一般2名) ・7月 延べ5名(一般1名 夏ボラ2名) ・10月 延べ3名(一般3名) ・3月 延べ1名(一般1名)	
(3)歯ミカップ	11月6日 利用者1名 職員1名	◆利用者の歯科に対する意識が高まったとともに、職員の意識および技術の向上につながりました。

4. 実習生等の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)職場体験	・立川第八中学校 3名(9月25日～26日) ・立川第二中学校 2名(2月3日～5日)	
(2)特別支援学校生徒現場実習	■都立武蔵台養護学校 ・6月23日～27日 1名 ・11月17日～21日 1名 ■都立立川ろう学校 ・12月8日～12日 1名 ■滝乃川学園 ・2月9日～13日、3月2日～6日 1名	
(3)施設見学受け入れ	武蔵台特別支援学校の先生及び生徒 ・2月26日 たんぽぽの施設職員及び利用者 ・3月9日	
(4)実習受け入れ	西東京歯科衛生士専門学校臨床実習 ・10月15日 4名 ・10月20日 4名	

生活介護支援事業所・101・102 デイルーム合同行事■

事業名等	実績(実施日など)	実績(実施日など)
(1)4 小まつりへの参加	紙すきはがき作り体験、車椅子体験などを行う ・7月12日参加	◆地域の小学校のイベントに参加。小学校の保護者や地域の方々に事業の紹介及びボランティアの募集を行なった。また、車椅子体験では、実際に体験して頂く事で、障害者に対する理解を深めました。
(2)3 小まつりへの参加	紙すきはがき作り体験、車椅子体験などを行う ・10月18日参加	
(3)地域交流行事	立川市総合福祉センターにて、うどん作り体験を実施 ・8月20日 一般参加者5名	◆地域の方々に事業の紹介並びにボランティア参加の機会を提供し、交流を深めました。

ⅩⅡ 福祉サービス総合支援事業

「地域あんしんセンターたちかわ」では、判断能力の不十分な市民が、適切な福祉サービス等を利用しながら安心して生活できるよう、福祉サービスの利用にかかる総合相談や苦情相談の受付、地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)、成年後見制度利用支援事業と同制度の普及・推進、法人後見人の受任などを実施しました。また成年後見制度の推進機関も兼ねた運営委員会を設置、運営をして、以下の事務事業を行いました。

1. 運営委員会によるセンター運営

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)運営委員会	<p>専門職や地域の関係機関により構成された運営委員会を設置して、成年後見制度推進機関としての機能を兼ねた地域あんしんセンターの運営方針や事業計画、法人後見受任や援助困難ケースへの助言・検討などを専門的、客観的に行いました。</p> <p>■第1回4月30日 運営委員委嘱状交付・実績報告・事業計画・法人後見受任ケースの報告</p> <p>■第2回5月30日 第1回第三者後見人等連絡会について・後見報酬について・法人後見受任ケースの検討</p> <p>■第3回6月20日 第1回第三者後見人等連絡会について・後見報酬について・法人後見受任ケースの検討</p> <p>■第4回7月29日 第1回第三者後見人等連絡会報告・法人後見受任ケースの検討</p> <p>■第5回9月11日 市民後見人の養成について・法人後見受任ケース検討</p> <p>■第6回10月30日 第三者後見人等連絡会、厚労省ヒアリング、講演会、上半期報告、ケース検討</p> <p>■第7回12月4日 状況報告</p> <p>■第8回1月27日 法人後見監督と社会貢献型後見人について</p> <p>■第9回3月5日 H21年度事業計画、法人後見監督と社会貢献型後見人について</p>	<p>◆委員構成 学識経験者、行政、医師、弁護士、民生委員、社会福祉士、障害者関係団体、基幹地域包括支援センター 以上8名 事業運営にあたり、委員メンバーの方からの客観的な助言や評価を受けることでより効果的な事業が実施できました。</p>

2. 総合相談事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1) 総合相談の受付	<p>介護保険や障害者自立支援法等の福祉サービス利用や成年後見制度などに関する総合相談の受付を行い、対応を図りました。(電話、来所、訪問)</p> <p>■総合相談件数 172件(初期相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉権利擁護事業 (日常生活自立支援事業) 54件 ・成年後見制度 84件 ・苦情 4件 ・障害者自立支援 2件 ・入居支援福祉制度 4件 ・その他 24件 	<p>◆高齢化の進展や判断能力の低下から、生活に何らかの支障をきたした市民が増加しています。このような中、親族や地域包括支援センター、ケアマネジャー等の関係機関からの成年後見制度利用や悪質商法被害など権利擁護に関する相談が増加しており、市民への被害の防止、権利侵害の排斥に寄与しました。</p>
(2) 苦情対応窓口の設置	<p>福祉サービスの利用が利用者と事業者の契約による対等な関係で提供されるよう、福祉サービスの利用に関する苦情等相談を受け付けました。</p> <p>■苦情相談受付件数(総合相談受付) 4件</p>	<p>◆各事業所や関係機関等で対応されている現状があり、相談件数は少数ですが、福祉サービスの適切な提供と利用に寄与しました。</p>
(3) 相続相談の実施	<p>相続に関する親族間の紛争解決や死後の財産等の自己決定の支援などの専門相談として、相続アドバイザー協議会の協力により実施しました。(毎月第2、第4火曜日午後 伊勢丹あいあいステーション)</p> <p>■相談件数 52件</p>	<p>◆財産の相続に悩んでいる市民や相続によって親族間の紛争を抱えている市民は多くなっています。相続相談の実施によって自己決定の尊重や親族間の紛争解決を導くことに効果がありました。</p>

3. 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1) 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)	<p>判断能力が不十分であるため、自己選択や自己決定が難しい市民が安心して生活できるよう、福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理サービス、重要な書類等の預かりサービスを実施しました。</p> <p>■地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規件数 10件(高齢者6件、精神障害者4件) 解約件数 11件(高齢者10件、精神障害者1件) 契約件数 62件(H21年3月末) <p>■生活支援員連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月24日 事業報告、計画について、社協の行う法人後見について ・3月17日 生活保護世帯の支援、記録の書き方、震災等緊急時の対応について <p>■厚生労働省ヒアリング 立川社協における日常生活自立支援事業について</p>	<p>◆福祉サービスの利用契約など制度が複雑化し、その利用や利用料の支払いなどに不安を抱えている市民は多いと思われます。事業の普及を図り、より適切なサービス利用や権利侵害の防止などに努めました。解約件数のケースについては、成年後見制度への移行によるものが主な理由でした。</p>

4. 成年後見制度利用支援事業及び普及、推進

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)成年後見制度利用支援事業	<p>成年後見制度の概要や利用、申立て等に関する相談支援を行いました。成年後見制度専門相談としては、司法書士会の協力により伊勢丹あいあいステーションで実施しました。また、地域の団体などの要請に応じた出前講座の実施や講演会の開催により成年後見制度の普及に努めました。また、親族や市長申立ての手続き支援や後見人等候補者選定の支援を行いました</p> <p>■相談件数(総合相談受付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口相談 83件(電話、訪問含) 内専門相談 7件(毎月第2土曜日午後) <p>■出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麦の会「地域あんしんセンターの概要について ～地権・成年後見制度など」 ・小地域ケア会議(わかば包括エリア) 「地域あんしんセンターたちかわについて」 ・柴崎町GNシンポジウム 「地域あんしんセンターにおける権利擁護について」 ・若葉町家族会 「地域あんしんセンターたちかわについて」 ・ニチイ「地域あんしんセンターたちかわについて」 <p>■講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月23日「あなたを狙う悪質商法～気づきと対応のポイント」参加者33名 ・3月24日「後見人の実務について」参加者41名 	<p>◆成年後見制度に関する相談は、年々増加していますが、同制度に関する普及や理解などは、まだ十分とは言えません。そのため、窓口等相談に加えて司法書士による専門相談や出前講座、講演会等を実施して、今後も市民への周知を図っていきます。</p>
(2)成年後見制度の推進	<p>地域あんしんセンターたちかわ運営委員会を成年後見制度推進機関として位置付け、行政及び各関係機関等と連携して成年後見制度の普及・推進に努めました。</p> <p>■後見人等連絡会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月2日 包括支援センターと関係機関ネットワークの概要及び高齢者関連の福祉サービスの概要、情報交換等 ・10月17日 立川市の障害福祉関連施策や福祉サービスの状況について、グループワーク等 ・3月17日 意見交換会「保証人のいない方の入所・虐待ケースの対応等」 <p>■親族後見人等の相談</p> <p>個別に相談を受け、対応しました。</p> <p>■家事機関と東京家庭裁判所との連絡協議会 情報交換「申立て支援、第三者後見人の活用・後見人の支援」</p>	<p>◆市民の成年後見人等として受任、また受任予定の方々と行政、地域の関係機関等とのネットワークを形成して、成年後見制度の普及推進に寄与しました。</p>

<p>(3) 成年後見制度における法人後見人の受任</p>	<p>親族や他に適切な後見人等がない市民に対して、本会が法人として後見人等を担いました。受任にあたっては運営委員会で検討し、助言を得て会長が決定します。</p> <p>■法人後見等受任件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規受任件数 5件 <ul style="list-style-type: none"> 後見 4件(高齢1件、精神3件) 保佐 1件(高齢) ・終了件数 2件 <ul style="list-style-type: none"> 後見 1件(高齢) 保佐 1件(高齢) ・受任件数 14件(H21年3月末) <ul style="list-style-type: none"> 後見 11件(高齢 7件、精神 3件、知的 1件) 保佐 2件(精神 2件) 補助 1件(精神 1件) 	<p>◆身寄りがいない、または疎遠であり、判断能力の低下から訪問販売被害や多重債務に陥っているなど生活に不安を抱えている市民が増加しています。適切な後見人等がない市民に対して、社協が法人として後見人等を受任して、その人の権利を護っていくことは意義深いと考えています。</p>
<p>(4) 東京都成年後見人等養成事業への協力</p>	<p>東京都が実施する「社会貢献型後見人養成講習」の修了者を地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の生活支援員や法人後見の履行補助者として受入れています。また、東京都などで実施する連絡会や研修会の開催周知や参加の取りまとめを行いました</p> <p>■受入れ人数 3名(2名休)</p>	<p>◆成年後見制度の第三者後見人等が不足する中、東京都が実施する養成事業に協力して、修了者を受入れていくことは、今後の市内における成年後見制度活用の推進など大きな効果が期待されます。</p>

5. たちかわ入居支援福祉制度

事業名等	実績(実施日など)	評価等
<p>(1) たちかわ入居支援福祉制度</p>	<p>判断能力が不十分な高齢者や障害者等が民間賃貸住宅の入居、または契約更新の際に、親族等の適切な保証人のいない市民を対象に地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の契約と合わせて保証人となり、生活サポートを行いながら地域での安定した生活が継続できるよう支援しています。また行政担当者との連絡会を実施しました。</p> <p>■相談件数(総合相談受付) 4件</p> <p>■契約者 3名(精神 2名、高齢 1名)</p>	<p>◆精神障害者の社会的入院の解消や身寄りのない高齢者などが、民間賃貸住宅を借りることができないような権利侵害を防ぐために、行政と連携して住宅保証人制度「たちかわ入居支援福祉制度」を昨年度に創設しました。権利擁護事業と合わせて生活サポートを行い、住み慣れた地域での生活を支援しています。</p>

6. 関係機関とのネットワークの形成

事業名等	実績(実施日など)	評価等
<p>(1) 連絡会への参加</p>	<p>各種連絡会へ参加をして事業運営に関する情報収集やネットワークの形成を図り、市民の権利擁護や困難ケースへの対応に努めました。</p> <p>■東京都</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援区市町村連絡会 ・成年後見制度推進機関連絡会 ・同関係機関推進機関合同会議 ・区市町村権利擁護機関情報交換会 <p>■東社協</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉権利擁護事業業務連絡会 ・北多摩西部ブロック担当者連絡会 	<p>◆各種連絡会等への参画を通して、関係機関とのネットワークの形成を図ることで立川市の権利擁護支援システムの充実と共に、職員のスキルアップにも努めています。</p>

	<p>■立川市、地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議 ・小地域ケア会議 ・福祉相談センター連絡会 ・権利擁護業務連絡会 ・主任介護支援専門員業務連絡会 ・介護支援専門員連絡会 ・高齢者ケア研究会 等 <p>■その他関係機関との連絡会</p>	
(2)虐待防止に関する検討	<p>児童や高齢者への「虐待防止」に向けたネットワークの形成に、権利擁護、成年後見制度推進機関として参加しました。</p> <p>■子ども支援ネットワーク</p> <p>各ブロック担当及び実務者の会に参加しました。</p> <p>■高齢者虐待防止ネットワーク連絡会(仮)</p>	<p>◆児童や高齢者への虐待が行なわれないよう、関係者と連携してネットワークを形成し、権利擁護関連の推進機関として関わりを深めていくことは今後さらに重要になると考えています。</p>
(3)その他	<p>センター業務における取組みとして、各種研修会へ積極的に参加して職員のスキルアップに努めました。また、他県他市からの視察等の受入れや講師派遣等を行い、立川市の権利擁護支援システムや事業周知等を行いました。</p> <p>■各種研修会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東社協地域福祉権利擁護事業専門員、業務担当者、生活支援員各研修 ・全社協専門員研修 ・都成年後見制度基礎研修、専門研修 ・苦情対応機関研修 ・市介護支援専門員研修 ・社会福祉事業従事者研修 ・外部講師による内部研修 等 <p>■視察等の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市社協 ・国分寺市社協 ・埼玉県社協及び県社会福祉士会 ・東海村社協視察 <p>■講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市介護支援専門員新任研修「地域あんしんセンターたちかわについて」 ・国立市社協「成年後見制度推進機関の取組み」 ・シルバー大学「成年後見制度の概要」 ・全社協「虐待防止権利擁護セミナー」 	<p>◆研修会への参加、また視察対応や講師として立川市の権利擁護支援システムや事業の説明、周知の機会を持つことで、社協及び権利擁護関連の担当職員としてのスキルアップが期待でき、地域あんしんセンターの事業の充実を図ってきました。</p>

ⅩⅢ 自立支援ホームヘルプサービス事業

障害者自立支援法の施行により、三障害の統一されたサービス提供が行われることになりました。従来の支援費制度下で、当事業所は身体障害者、精神障害者に限ってサービス提供を行ってまいりましたが、19年4月より知的障害者へのサービス提供ができるように東京都へ申請しました。現段階では、ホームヘルパーの人材不足もあり、新規の受入れは出来ていない状況であり、今後課題を残しています。

1. 居宅介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
身体障害者 利用者数	12	12	12	11	10	10	10	11	10	10	10	12	130	
時間数	身体介護	27.5	25.5	24.5	24.5	22.0	7.5	21.5	18.0	13.5	4.5	6.0	6.0	201.0
	家事援助	161.0	169.0	156.0	164.5	133.5	121.5	158.5	142.0	140.5	121.0	126.0	144.5	1738.0
	通院介助 (身体介護あり)	0.0	6.5	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	3.5	25.0
	通院介助 (身体介護なし)	3.5	3.5	3.0	0.0	0.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	3.0	33.5
	合計(A)	192.0	204.5	188.0	193.5	155.5	132.5	183.5	163.5	157.5	134.5	135.5	157.0	1997.5
精神障害者 利用者数	13	14	14	14	14	14	13	13	13	13	12	14	161	
時間数	身体介護	11.5	10.5	10.5	11.5	10.5	10.0	11.5	10.0	10.5	10.5	7.0	10.0	124.0
	家事援助	102.5	105.5	107.5	111.0	106.0	118.0	106.5	99.0	108.0	102.0	93.5	116.5	1276.0
	通院介助 (身体介護あり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通院介助 (身体介護なし)	6.5	5.0	3.5	5.0	3.0	4.5	3.0	6.5	5.5	3.0	1.0	1.5	48.0
	合計(B)	120.5	121.0	121.5	127.5	119.5	132.5	121.0	115.5	124.0	115.5	101.5	128.0	1448.0
知的障害者 利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
時間数	身体介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事援助	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通院介助 (身体介護あり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通院介助 (身体介護なし)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計(C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
利用者数合計 (a+b+c)	25	26	26	25	24	24	23	24	23	23	22	26	291	
時間数合計 (A+B+C)	312.5	325.5	309.5	321.0	275.0	265.0	304.5	279.0	281.5	250.0	237.0	285.0	3445.5	

(注) 知的障害者については19年4月より事業申請を行い、新規相談が4件ありましたが受入れ実績はありませんでした。

2. 重度訪問介護

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	24
時間数	重度訪問介護 (移動を伴う)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0%
	重度訪問介護 (移動を伴わない)	27.0	24.0	24.0	24.0	24.0	27.0	27.0	24.0	27.0	24.0	18.0	294.0	93%
	合計	27.0	24.0	24.0	24.0	24.0	27.0	27.0	24.0	27.0	24.0	18.0	294.0	93%

(注) 重度訪問介護は、平成18年10月より開始されました。

3. 移動支援

移動支援		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用者数	身障	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	知的	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	
	精神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21	
時間数	身障	3.0	1.5	3.0	1.0	4.5	1.5	1.5	1.5	4.5	1.5	1.5	1.5	26.5	129%
	知的	0.0	0.0	0.0	1.5	2.5	9.0	4.0	5.0	4.0	3.0	4.5	3.0	36.5	
	精神	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計	3.0	1.5	3.0	2.5	7.0	10.5	5.5	6.5	8.5	4.5	6.0	4.5	63.0	307%

(注) 移動支援事業は、平成 18 年 10 月より開始されました。前年比の「知的・精神」欄は前年度実績がないため表示されません。

XIV 生活安定応援事業

一定の所得以下の方の生活安定に向けた緊急総合対策として、生活相談に応じるとともに、就職の支援や各種資金の貸付を行っています(平成 20 年 9 月より窓口開設)。

1. 生活安定応援事業(東京都委託事業)

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)就職チャレンジ支援事業	○相談 168 件／支援 33 件	◆生活安定応援事業全体としては 200 件を超える問い合わせ・相談がありました。ただまだ周知が足りないため、今後も継続して PR を行う必要があります。 ◆就職チャレンジ支援事業と併せて、離職者支援資金の相談や、チャレンジ支援事業と併せて修学資金の問い合わせが増えており、今以上に幅広く柔軟な対応が求められています。
(2)その他職業訓練・講座等の紹介	○相談 22 件	
(3)生活サポート特別貸付事業	○相談 15 件／貸付 0 件	
(4)チャレンジ支援貸付事業	○相談 52 件／貸付 5 件(塾代: 中学 2 名、高校 3 名) 854,000 円 ／貸付 4 件(受験料代: 高校 4 名) 368,000 円	

■特別会計事業

I 歳末たすけあい運動事業

地域福祉活動の推進を図るため、関係機関との連携や地域自治会の協力により、共同募金運動の一環として、歳末たすけあい運動を実施しました。

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)歳末たすけあい運動	○実施期間 平成20年12月1日～31日 ○協力自治会数 143件／協力団体・個人数 22件 ○募金額 7,109,355円(前年比85.2%)	◆歳末たすけあい運動および赤い羽根募金で協力いただいた募金については、翌年度、その一部を地域福祉活動費として配分されます。

II 奨学金事業

離職者世帯を対象とした奨学金の貸付を行っています。

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)奨学金(離職者支援)の貸付	○相談4件／貸付1件 840,000円	◆今年度は離職に伴う奨学金の貸付が1件ありました。就職チャレンジ支援事業とともに今後相談が増えるものと思われます。

III 収益事業

法人の経営基盤の強化に努めるため、公共施設等に自動販売機を設置して収益事業を行いました。

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)自動販売機の設置	総合福祉センターをはじめ、市内の公共施設9カ所、計11台の自動販売機を設置 ○売上額 3,407,126円(前年比102.5%) ※一般会計に2,589,982円繰り入れました	◆徐々に売上が伸びていますが、今年度末で、立川競輪場に設置してあった販売機を、市と協議のうえ撤去しました。

■共同募金会立川地区協会の事業

I 赤い羽根共同募金運動事業

東京都共同募金会立川地区協会として、民間福祉事業の振興を図るため、地域自治会等の協力により、赤い羽根共同募金運動を実施しました。

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)赤い羽根共同募金運動	○実施期間 平成20年10月1日～31日 ○協力自治会数 148件／協力団体・個人数 9件 ○募金額 5,107,395円(前年比94.2%)	◆共同募金会では共同募金の配分システムの見直しを検討しているため、今後、地域での配分委員会の設置の準備が必要です。